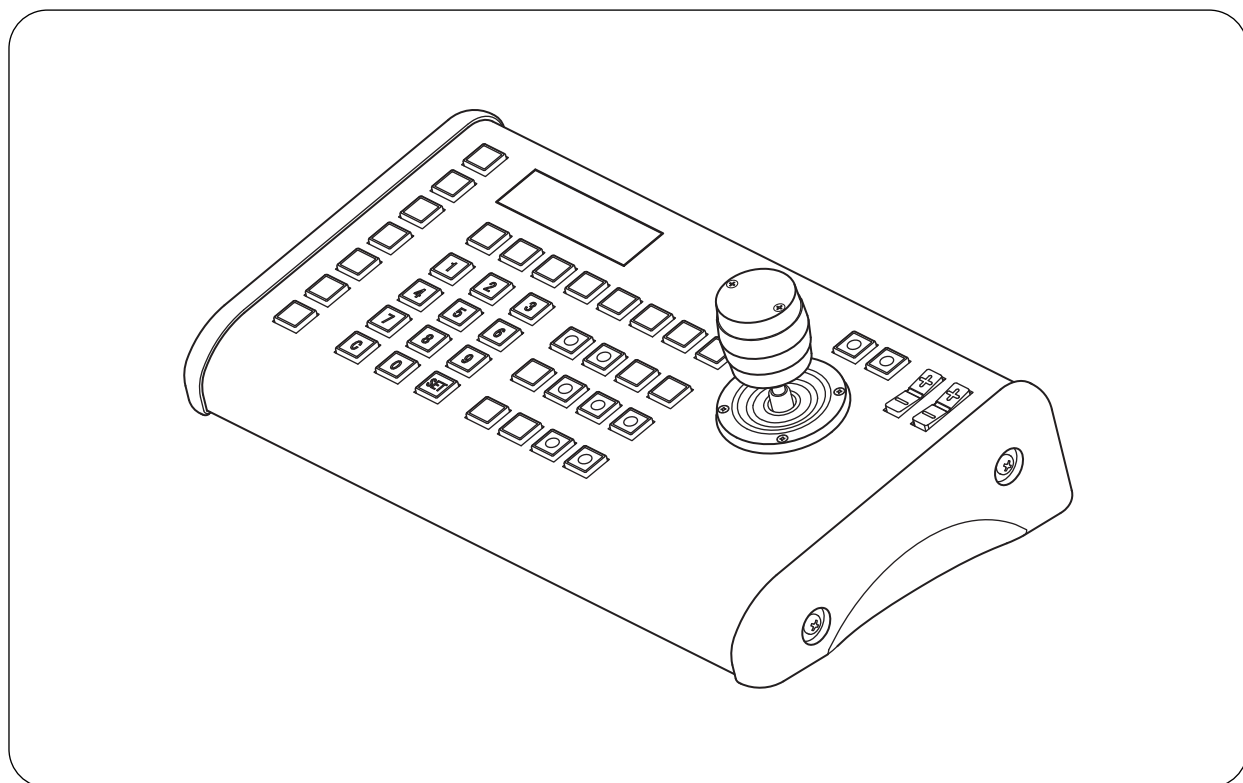




# 取扱説明書

## リモートコントローラー

## C-RM700



このたびは、TOA リモートコントローラーをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。  
正しくご使用いただくために、必ずこの取扱説明書をお読みになり、末長くご愛用くださいますようお願い申し上げます。

TOA 株式会社

# 目次

安全上のご注意 .....	4
概 要 .....	6
機能の説明 .....	6
接続可能な機器と最大接続台数	
本機で制御可能な機器について .....	7
カメラ制御端子について .....	7
各部の名称とはたらき	
上 面 .....	8
後 面 .....	10
操作のしかた	
カメラを操作する .....	11
操作するカメラを選択する .....	12
ジョイスティックでカメラを旋回させる .....	13
ワイパーを動作させる .....	13
予備接点1を制御する .....	14
予備接点2を制御する .....	14
オート機能を動作させる .....	15
フォーカス機能を動作させる .....	15
レンズスピードを変える .....	16
オートフォーカス機能を動作させる .....	16
カメラのポジションを選択する .....	16
モニターに表示させる	
1画面表示で見る .....	17
多画面表示で見る（マルチスイッチャー接続時のみ）	
[16分割画面で見る] .....	18
[10分割画面で見る] .....	18
[9分割画面で見る] .....	19
[4分割画面で見る] .....	19
シーケンス表示で見る	
[1画面シーケンスで見る] .....	20
[4画面シーケンスで見る] .....	20
カメラ番号を表示させる（マルチスイッチャー接続時のみ） .....	21
静止画面を見る（マルチスイッチャー接続時のみ） .....	21
ファンクションキーを利用する .....	23
短縮登録を利用する .....	23
アラームの保留と解除	
アラームを保留する .....	24
アラーム入力されたカメラの映像を表示する .....	24
アラームを解除する .....	24
設定のしかた	
設定項目の一覧と概要 .....	25
設定に使用するキーと表示画面 .....	26

設定の基本操作 .....	27
パスワードが設定されていない場合 .....	27
パスワードが設定されている場合 .....	28
機能を設定する	
動作モード .....	29
スイッチャー .....	30
プロトコル .....	31
カメラチェック .....	32
マニュアルスピード（プロトコル：タイプBのみ） .....	33
オートキー（タイプB、ミカミ PTCのみ本機で設定） .....	33
時間調整（プロトコル：タイプBのみ） .....	34
自動復帰 .....	34
ホームポジション .....	35
I/Oスピード .....	36
ブザー .....	37
初期画面 .....	37
チャンネル指定 .....	38
センサーアラーム .....	39
カメラアラーム .....	39
カメラアラームプリセット .....	40
アラーム信号 .....	41
アラーム時間 .....	41
アラーム機能 .....	42
アラーム保留 .....	42
ファンクション .....	43
短縮 .....	45
ツアーシーケンス .....	46
カメラメニュー .....	47
I/O選択 .....	47
パスワード .....	48
ジョイスティック位置を調整する .....	48
接続のしかた	
コンビネーションカメラとの接続 .....	48
コンビネーションカメラを複数台接続する .....	49
アラームユニットを接続する .....	50
2カ所から制御するときの接続 .....	50
マルチスイッチャーとの接続 .....	51
アラーム出力／制御入力端子の接続 .....	52
D-subコネクタ付きケーブルの組み立てかた .....	53
システム例1 .....	54
システム例2 .....	55
システム例3 .....	56
システム例4 .....	57
機能設定一覧表	
オートキーの設定 .....	58
ファンクションキーの設定 .....	59
仕様 .....	60
付属品 .....	60

# 安全上のご注意

- ご使用前に、この欄を必ずお読みになり正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お読みになったあとは、いつでも見られる所に必ず保管してください。

## 表示について

ここでは、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

## 図記号について

行為を禁止する記号			行為を強制する記号	
				
分解禁止	禁止	接触禁止	強制	電源プラグを抜く



## 警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

### 水にぬらさない

本機に水が入ったりしないよう、また、ぬらさないようご注意ください。  
火災・感電の原因となります。



禁止

### 指定外の電源電圧で使用しない

表示された電源電圧を超えた電圧で使用しないでください。  
火災・感電の原因となります。



禁止

### 電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたりしないでください。  
また、コードの上に重いものをのせないでください。  
火災・感電の原因となります。



禁止

### 不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。  
落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。



禁止

### 万一、異常が起きたら

次の場合、本機への電源の供給を中止し、販売店にご連絡ください。  
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

- 煙が出ている、変なにおいがするとき
- 内部に水や異物が入ったとき
- 落としたり、ケースを破損したとき
- 電源コードが傷んだとき（心線の露出、断線など）
- 音が出ないとき
- 画面が映らないとき



電源プラグを抜く

### 内部を開けない、改造しない

内部には電圧の高い部分があり、ケースを開けたり、改造したりすると、火災・感電の原因となります。  
内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。



分解禁止



## 警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

### 液体の入った容器や小さな金属物を上に置かない

こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。



禁止

### 雷が鳴ったらさわらない

雷が鳴り出したら、電源プラグや制御線にはさわらないでください。感電の原因となります。



接触禁止



## 注意

誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

### ぬれた手で電源プラグをさわらない

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。



禁止

### 電源コードを引っ張らない

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。



禁止

### 移動させるときは電源プラグを抜く

差し込んだまま移動させるとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。



電源プラグを抜く

### 湿気やほこりの多い場所などに置かない

湿気やほこりの多い場所、直射日光のあたる場所や熱器具の近く、油煙や湯気のあたるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。



禁止

### 上に重いものを置かない

本機のバランスがくずれて倒れたり、落下したりして、けがの原因となることがあります。



禁止

### ACアダプターは専用品を使用する

専用品以外のものを使用すると、火災の原因となることがあります。



強制

### 電源プラグやコンセント部の掃除をする

電源プラグを差し込んでいるコンセント部にほこりがたまると、火災の原因となることがあります。定期的にコンセント部の掃除をしてください。また、電源プラグは根元まで差し込んでください。



強制

### お手入れの際、長期間使用しない場合の注意

お手入れのときや長期間本機をご使用にならないときは、本機への電源の供給を中止してください。守らないと、感電・火災の原因となることがあります。



電源プラグを抜く

# 概要

コンビネーションカメラを別線（RS-485）で遠隔操作するためのリモートコントローラーです。マルチスイッチャーと組み合わせて使用することで、最大 16 台のカメラの映像の切り換えとコントロールが可能です。また、3 軸ジョイスティックを装備し、主要な動作を片手で操作することができます。

# 機能の説明

## ● 画面選択機能

マルチスイッチャーに接続されているカメラの映像を 1 画面表示の他、4 分割、シーケンス 4 分割、9 分割、10 分割、16 分割での画面表示、シーケンス 1 画面表示の中から選ぶことができます。

## ● マニュアル操作機能

コンビネーションカメラのズーム、フォーカス、および上・下・左・右の旋回を制御できます。

## ● プリセットポジション再生機能

コンビネーションカメラの向きを制御して、設定されている方向の映像をモニターに表示させることができます。

## ● ファンクション機能

設定によりファンクションキー（F1～F8）の各キーに、カメラ番号、またはカメラ番号とポジション番号を登録することができます。

F1～F8 のキーを押すことで、カメラ映像をモニターに 1 画面表示させ、さらにポジション番号が設定されている場合は、設定されている方向の映像を表示できます。

## ● 短縮番号機能（クイック表示機能）

設定により 1～520 までの番号に、カメラ番号、またはカメラ番号とポジション番号を登録できます。

登録された番号をテンキーで入力し、SET キーを押すことで、その番号に登録されているカメラ番号の映像を 1 画面表示させ、さらにポジション番号が設定されている場合は、設定されている方向の映像を表示できます。

## ● アラーム機能

本機が接続されている監視カメラシステムに入力されたアラーム信号に合わせて、表示画面を制御します。

アラーム入力があったとき、アラーム入力のあったカメラの映像を優先して表示します。

また、アラームによるチャンネル（カメラ番号）への切り換えを一時的にストップさせることができるアラーム保留機能をもっています。アラーム保留機能により、アラーム保留中に選択している表示画面から、アラーム入力による強制的な画面の切り換えを保留します。（マルチスイッチャー接続時）

## ● カメラプロトコル

TOA タイプ A、タイプ B、ミカミ PTC プロトコルを搭載し、TOA コンビネーションカメラおよびミカミの一部のパンチルト、ズームカメラ（一体型旋回カメラ）を制御できます。

## ● プロトコルコンバーター機能

TOA 機器から出力される TOA タイプ B プロトコルをミカミ PTC プロトコルへ変換し、出力することができます。

# 接続可能な機器と最大接続台数

## ■ 本機で制御可能な機器について

本機で制御可能な機器は以下のとおりです。

カメラ

[通信方式：タイプA] : C-CC501、C-CC504、C-CC551、C-CC554

[通信方式：タイプA/B] : C-CC511、C-CC514、C-CC571、C-CC574、C-CC704、  
C-CC711、C-CC714、C-CC771、C-CC774

[通信方式：ミカミ PTC] : PTC-113、PTC-EP-RC200


各カメラをカメラ制御端子に最大 16 台接続し、制御することができます。

スイッチャー：C-MS91D、C-MS91S、C-MS161D、C-MS161S

いずれかのスイッチャーを 1 台のみ接続し、カメラをリモートコントロールすることができます。

## ■ カメラ制御端子について

カメラ制御端子には、コンビネーションカメラまたはインターフェースユニット C-IF500 が接続されます。この端子には、最大 16 台までのカメラが接続できます。

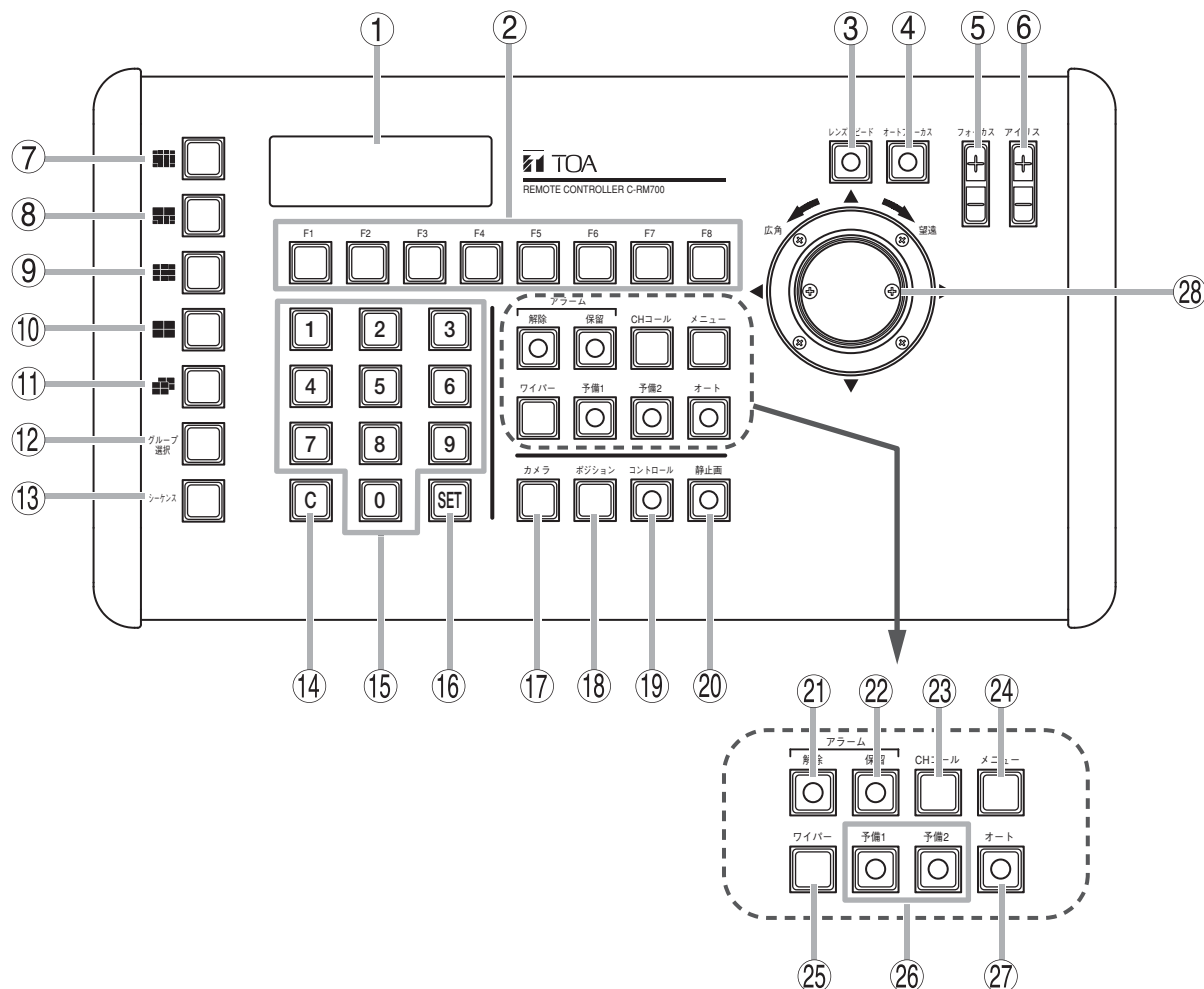
すべてのカメラを接続し、カメラの電源および本機の電源を ON にして、カメラのイニシャライズ動作が終了した状態で、必ずカメラチェックを行ってください。（ P. 32 「カメラチェック」）

### 本書の記述にあたって

- 本書は、リモートコントローラー C-RM700（本機）とマルチスイッチャー C-MS91D/S、C-MS161D/S を接続したシステムで記述しています。
- カメラ番号 : スwitchャーに接続されているカメラ入力端子の番号を表示します。
- ポジション番号 : コンビネーションカメラの向きを 1～255 の番号に登録しておくことができます。

# 各部の名称とはたらき

[上 面]



## ご注意

キーによってはシステム構成上機能しないものがあります。該当するキーには下記の注釈を付記しています。

- \*1 本機にマルチスイッチャーが接続されているときに機能します。
- \*2 本機にコンビネーションカメラが接続されているときに機能します。

### ① 液晶画面

設定メニュー、テンキーの入力状態、行っている操作などの情報を文字で表示します。

### ② ファンクションキー [F1～F8]

あらかじめ設定されたカメラ番号とポジション番号に該当するカメラ映像を、ワンタッチでモニターに1画面表示します。  
各キーには、コンビネーションカメラに対するオート動作（オートパン、オートトレース、プリセットシーケンス、ツアー）の起動を設定することもできます。

### ③ レンズスピードキー \*2

ズームキーまたはフォーカスキーを押したときのレンズの動作速度を調節します。キーが点灯中のときはフォーカスの動きが遅くなります。微調整に使用します。

### ④ オートフォーカスキー \*2

コンビネーションカメラのオートフォーカス機能を動作させます。コントロールキーが点灯しているときのみ有効です。



- ⑤ フォーカスキー \*2  
 コンビネーションカメラのズームレンズを「遠」または「近」に調節します。コントロールキーが点灯しているときのみ有効です。
- ⑥ アイリスキー  
 カメラのアイリスを調節します。  
**【ご注意】**  
 通信方式がタイプAの場合は、使用できません。
- ⑦ 16分割画面キー \*1  
 カメラの映像をモニターに16分割で表示します。
- ⑧ 10分割画面キー \*1  
 カメラの映像をモニターに10分割で表示します。10分割画面を表示中に、さらにこのキーを押すと、グループ1が表示中ならグループ2を、グループ2が表示中ならグループ1を表示します。
- ⑨ 9分割画面キー \*1  
 カメラの映像をモニターに9分割で表示します。9分割画面を表示中に、さらにこのキーを押すと、グループ1が表示中ならグループ2を、グループ2が表示中ならグループ1を表示します。
- ⑩ 4分割画面キー \*1  
 カメラの映像をモニターに4分割で表示します。4分割画面を表示中に、さらにこのキーを押すと、グループ1が表示中ならグループ2を、グループ2が表示中ならグループ3を、グループ3が表示中ならグループ4を、グループ4が表示中ならグループ1を表示します。
- ⑪ 4分割シーケンスキー \*1  
 接続されているすべてのカメラの映像を、一定の時間でグループ1～4を順に切り換えてモニターに4分割表示します。(切り換え時間はスイッチャーで設定します。)
- ⑫ グループ選択キー \*1  
 カメラの映像をモニターに10、9、4分割で表示しているとき、表示中のグループを切り換えます。
- ⑬ シーケンスキー \*1  
 接続されているすべてのカメラの映像を一定時間で切り換えて1画面で表示します。(切換時間はスイッチャーで設定します。)
- ⑭ Cキー (クリアキー)  
 テンキーの入力間違いを訂正します。また、アラーム起動中にブザーを鳴らしている場合、このキーを押すとブザーが停止します。
- ⑮ テンキー [0～9]  
 カメラ番号、ポジション番号、短縮番号などを入力するときに使用します。
- ⑯ SETキー  
 テンキーとともにカメラ番号やポジション番号の登録に使用します。また、短縮番号に登録された番号をテンキーで入力し、このキーを押すと、登録された内容のカメラ映像をモニターに1画面で表示させることができます。
- ⑰ カメラキー  
 指定したカメラ番号の映像を1画面表示にします。カメラ番号を入力せずにこのキーを押しても動作しません。
- ⑱ ポジションキー  
 コンビネーションカメラを、プリセット記憶されたポジションに向けます。コントロールキーが点灯しているときのみ有効です。ポジション番号の指定なしにこのキーを押すと、ポジション1番 (ホームポジション) に登録されている方向にカメラを向けます。
- ⑲ コントロールキー  
 多画面表示中に、手動でコントロールするカメラを指定するときに使用します。1画面表示中およびシーケンス表示中は動作しません。また、チャンネル番号の指定なしにこのキーを押しても動作しません。キーは、カメラがコントロール可能な場合に点灯します。
- ⑳ 静止画キー \*1  
 映像を静止画像にします。ただし、シーケンス表示中は静止画像にできません。キーは、表示画面の中に静止画像があるとき点滅します。
- ㉑ アラーム解除キー  
 システムのアラーム状態を解除します。アラーム起動中は、キーが点滅します。
- ㉒ アラーム保留キー  
 アラーム起動の入力を保留します。アラーム保留中は、キーが点滅します。
- ㉓ CHコールキー \*1  
 カメラ番号を一定の時間モニターに表示します。表示がないときや、カメラ名称を表示中にカメラ番号を知りたいときに便利です。
- ㉔ メニューキー  
 各設定を行う場合に、3秒以上押すと液晶画面にメニューを表示します。もう一度押すと設定画面を終了し、表示が消えます。

②⑤ ワイパーキー \*2

屋外用コンビネーションカメラのワイパー機能をリモート操作します。コントロールキーが点灯しているときのみに有効です。

②⑥ 予備1、予備2キー \*2

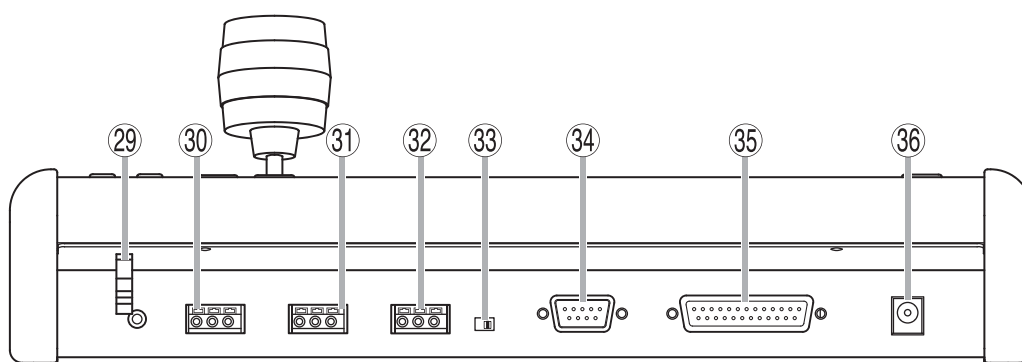
コンビネーションカメラの予備接点出力を制御（メイクまたはブレイク）します。キーは、予備接点がメイクしているときは点灯し、ブレイクしているときは消灯します。コントロールキーが点灯しているときのみに有効です。

②⑦ オートキー \*2

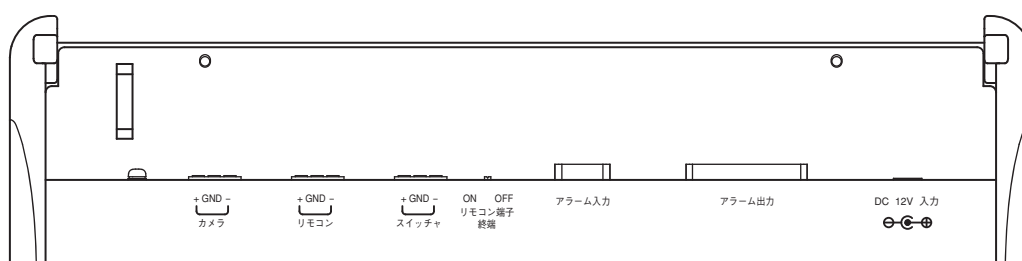
コンビネーションカメラのオート機能（オートパン、オートトレース、プリセットシーケンス）をON/OFFします。コントロールキーが点灯しているときのみに有効です。

- ・オートパン : 自動水平旋回機能
- ・オートトレース : 手動によるカメラ操作を記憶させ、その操作を自動再生する機能
- ・プリセットシーケンス : 設定されたプリセット番号順に自動再生する機能
- ・ツアー : 各カメラで設定したプリセットやトレース等を再生したい順番に記憶させ、自動再生する機能

[後面]



[底面] ※シルク表示



②⑧ ジョイスティック \*2

システムに接続されている旋回台付きカメラの向きを上・下・左・右ズームを制御します。コントロールキーが点灯しているときのみに有効です。

②⑨ コードクランプ

コードを束ねるときに使用します。

③⑩ カメラ制御端子 (RS-485)

コンビネーションカメラを接続します。

③⑪ スレーブリモコン端子

スレーブ設定された別の本機を接続し、システムを別の場所から制御できます。

③⑫ スイッチャ制御端子 (RS-485)

マルチスイッチャーのリモコン専用端子と接続し、スイッチャーの画面表示を制御します。

③⑬ スレーブリモコン端子終端スイッチ

通常は「ON」で使用します。プロトコルコンバーターするとき「OFF」にすることがあります。プロトコルコンバーターの詳細については、P. 29「動作モード」を参照してください。

③⑭ アラーム入力端子 (RS-232C)

アラーム入力ユニットを接続し、アラーム情報を入力します。

③⑮ アラーム出力/制御入力端子

アラームが発生したチャンネル（カメラ番号）に対応した接点をメイク出力します。

③⑯ ACアダプタ電源入力端子 [DC 12V入力]

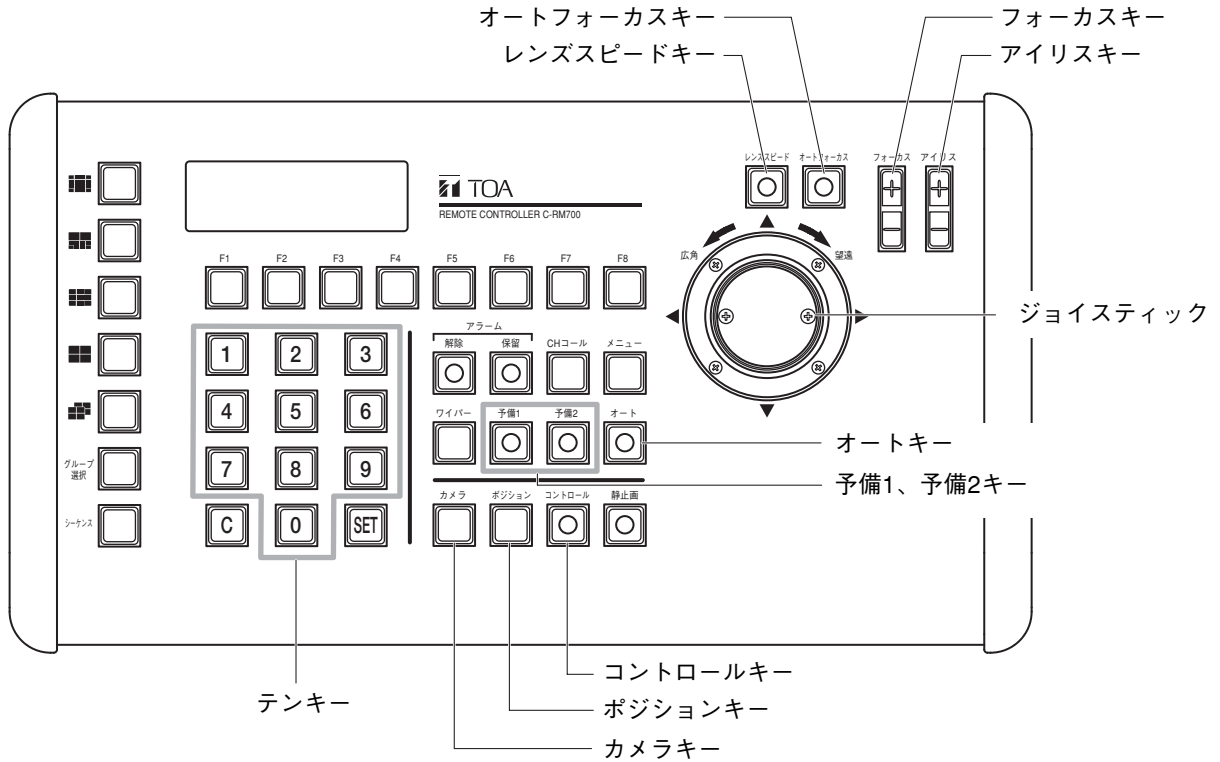
専用ACアダプタのDCプラグを差し込みます。

# 操作のしかた

## ■ カメラを操作する

コントロールキーが点灯しているときに、以下のカメラ操作ができます。

[操作に使用するキー]

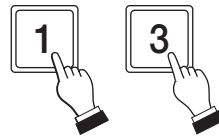


## ● 操作するカメラを選択する

1画面または多画面表示中に、手動で制御するカメラを選択することができます。

**1** テンキーで操作したいカメラの番号を押す。

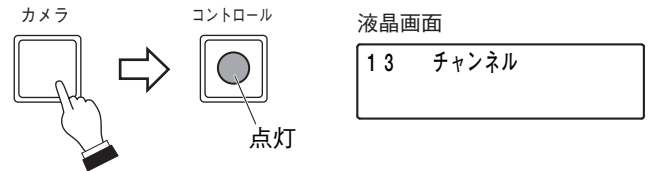
(例)



**2** カメラキーまたはコントロールキーを押す。

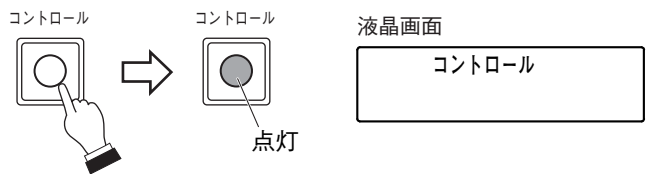
### 2-1 1画面表示にして操作する場合

カメラキーを押す。  
コントロールキーが点灯して、指定したカメラの操作ができます。



### 2-2 多画面表示のままで操作する場合

多画面表示中に、コントロールキーを押す。  
コントロールキーが点灯して、指定したカメラの操作ができます。



モニター画面  
(10分割表示画面のとき)

カメラ名称		XX	YY
		09	10
		11	12
このカメラが操作可能		13	14
		15	16

※ XX、YYの映像は、マルチスイッチャーで任意に設定できます。

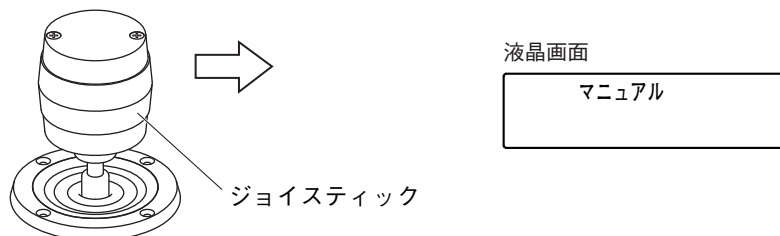
## ● ジョイスティックでカメラを回転させる

システムにコンビネーションカメラが接続されているとき、ジョイスティックで任意の方向に回転させることができます。

カメラを選択した状態で、カメラを回転させたい方向にジョイスティックを倒す。

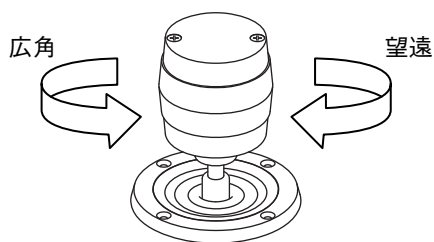
ジョイスティックを倒した方向へカメラが回転します。

(例) カメラを右に回転させたいとき



カメラを選択した状態で、ジョイスティックをまわす。

右回転で望遠、左回転で広角の動作をします。

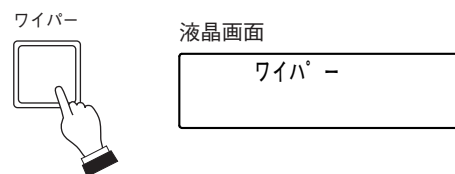


## ● ワイパーを動作させる

システムに、ワイパー機能付きのミカミ PTC 通信制御カメラが接続されているとき、ワイパーキーでワイパーを動作させることができます。

カメラを選択した状態で、ワイパーキーを押す。

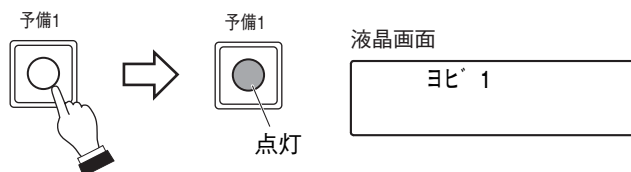
キーを押している間、ミカミ PTC 通信制御カメラに内蔵されているワイパーが動作します。



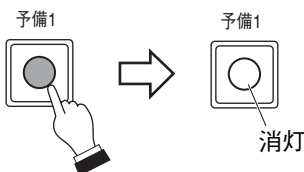
## ● 予備接点1を制御する

コンビネーションカメラの予備接点出力1をメイクまたはブレイクさせることができます。

- 1 カメラを選択した状態で、予備1キーを押す。  
予備1キーが点灯し、予備接点出力1がメイク（ON）されます。



- 2 もう一度、予備1キーを押す。  
予備1キーが消灯し、予備接点出力1がブレイク（OFF）されます。



## ● 予備接点2を制御する

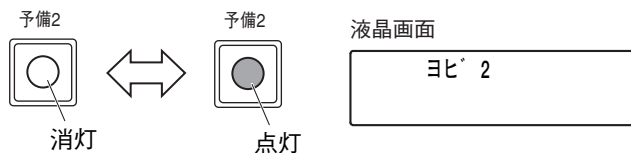
C-CC501、C-CC504、C-CC551、C-CC554、C-CC571、C-CC574の予備接点出力2を制御します。

[ C-CC501、C-CC504、C-CC551、C-CC554の場合 ]

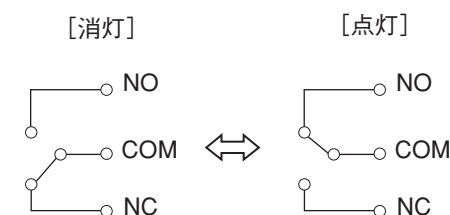
予備接点1と同様に、予備接点出力2をメイクまたはブレイクさせることができます。

[ C-CC571、C-CC574の場合 ]

- 1 カメラを選択した状態で、予備2キーを押す。  
予備2キーが点灯し、コンビネーションカメラ内部の予備接点出力2が動作します。



- 2 もう一度、予備2キーを押す。  
予備2キーが消灯し、予備接点出力2が切り換わります。



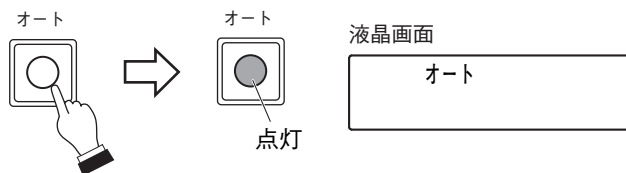
メモ

ミカミ PTC 通信制御カメラでデフロスター内蔵の機器が接続されている場合は、ON（点灯）とAUTO（消灯）を切り換えます。OFFに設定されているときは機能しません。

## ● オート機能を動作させる

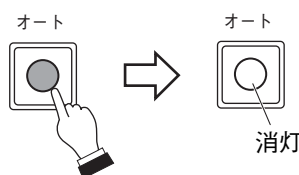
システムにコンビネーションカメラが接続されているとき、オートキーでオート機能を動作させることができます。

- 1** カメラを選択した状態で、オートキーを押す。  
 オートキーが点灯し、オート動作（オートパン、オートトレース、またはプリセットシーケンス）を開始します。



- オートパン : 自動水平旋回機能
- オートトレース : 手動によるカメラ操作を記憶させ、その操作を自動再生する機能
- プリセットシーケンス : 設定されたプリセット番号順に自動再生する機能
- ツアー : 各カメラで設定したプリセットやトレース等を再生したい順番に記憶させ、自動再生する機能

- 2** もう一度、オートキーを押す。  
 オートキーが消灯し、オート動作が停止します。



メモ

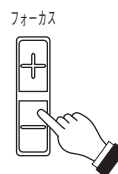
接続しているカメラプロトコルによって、どのオート機能を動作させるかの設定先が異なります。詳しくは以下の表を参照してください。

プロトコル	設定先	記憶先	参照ページ
TOA タイプ A	カメラメニュー	カメラ	P. 47
TOA タイプ B ミカミ PTC プロトコル	オートキー	リモコン	P. 33

## ● フォーカス機能を動作させる

コンビネーションカメラが接続されているとき、フォーカスキーで焦点を合わせることができます。

- カメラを選択した状態でフォーカスキー (+)、(-) を押す。  
 キーを押している間、動作します。  
 (+)で遠、(-)で近方向の動作をします。

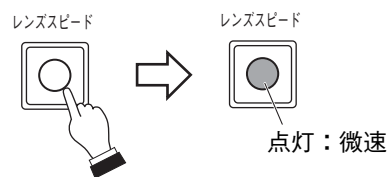


## ● レンズスピードを変える

フォーカスキーを押したときのレンズスピードを変えることができます。

レンズスピードキーを押す。

レンズスピードキーが点灯しているときは、レンズスピードが遅くなります。

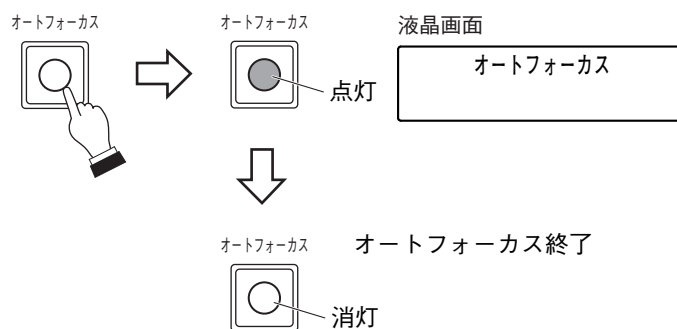


## ● オートフォーカス機能を動作させる

コンビネーションカメラが接続されているとき、オートフォーカスキーでオートフォーカス機能を動作させることができます。

カメラを選択した状態で、オートフォーカスキーを押す。

オートフォーカス動作中は、キーが点灯します。



## ● カメラのポジションを選択する

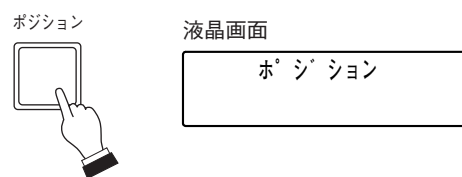
**1** テンキーでポジション番号を押す。

(例)



**2** ポジション選択キーを押す。

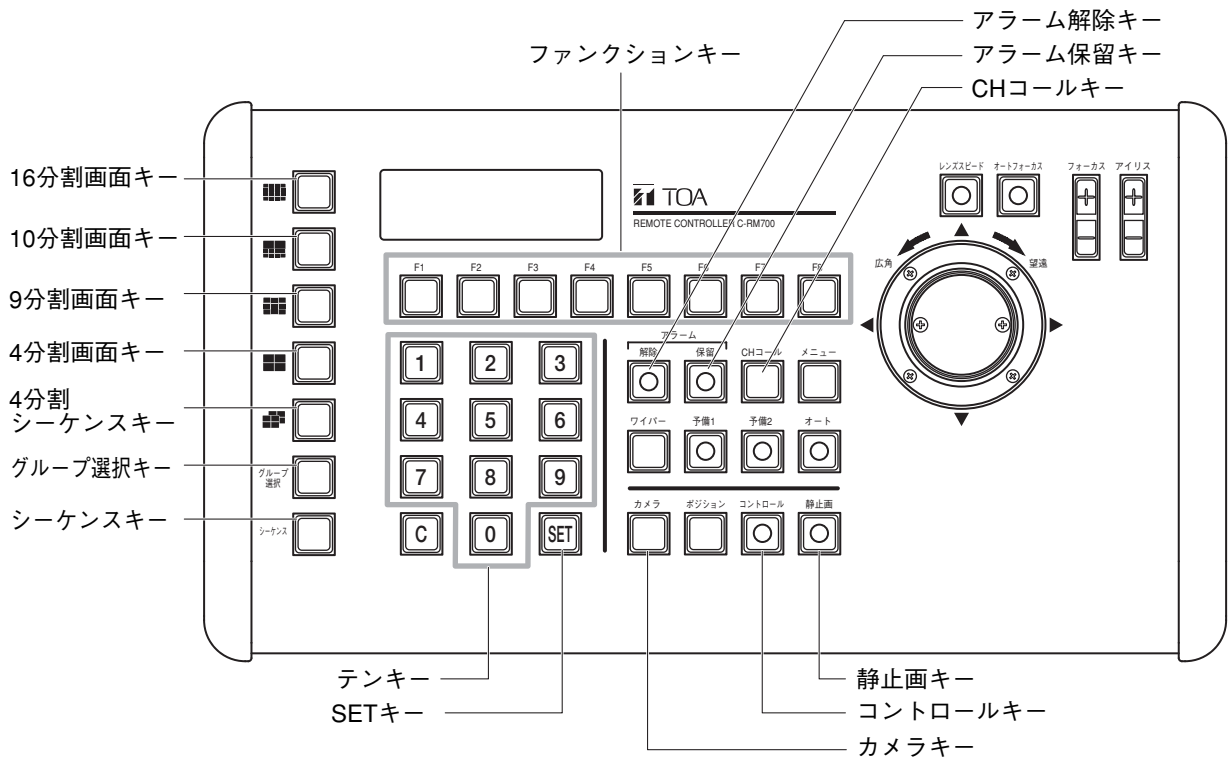
現在のモニターに、現在のカメラ番号の選択したポジションの映像が表示されます。





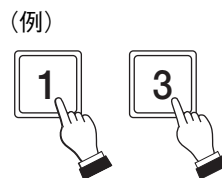
# ■ モニターに表示させる

[操作に使用するキー]



## ● 1画面表示で見る

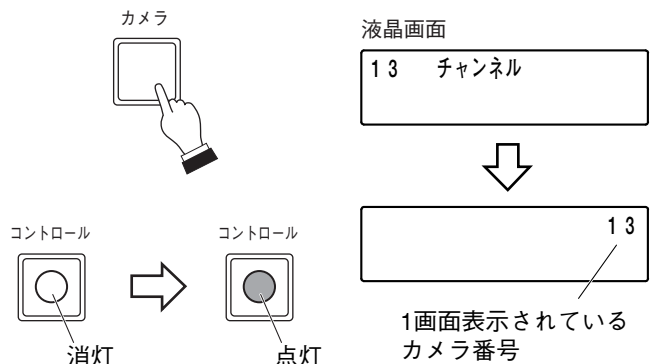
**1** テンキーで1画面表示したいカメラの番号を押す。



**2** カメラキーを押す。

指定されたカメラの映像が1画面表示されます。

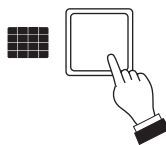
また、指定されたカメラが制御可能なカメラの場合は、コントロールキーが点灯して、ジョイスティックなどでカメラの操作ができるようになります。



● 多画面表示で見る（マルチスイッチャー接続時のみ）

[16分割画面で見る]

16分割画面キーを押す。  
 接続されているすべてのカメラ映像がモニターに表示されます。



液晶画面

16フ'ンカット
----------

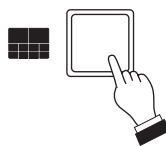
モニター画面

01	02	03	04
05	06	07	08
09	10	11	12
13	14	15	16

カメラ番号

[10分割画面で見る]

**1** 10分割画面キーを押す。  
 カメラ番号1～8（グループ1）と2画面（スイッチャーで設定可能）がモニターに表示されます。



液晶画面

10フ'ンカット
----------

モニター画面（グループ1）

カメラ名称		01	04		
01	02	03	04		
カメラ番号		05	06	07	08

**2** 10分割画面キーまたはグループキーを押す。  
 カメラ番号9～16（グループ2）と2画面（スイッチャーで設定可能）がモニターに表示されます。

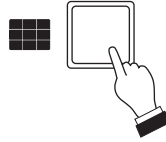


モニター画面（グループ2）

09		13	
09	10	11	12
13	14	15	16

[9分割画面で見る]

- 1** 9分割画面キーを押す。  
カメラ番号1～9（グループ1）が  
モニターに表示されます。



液晶画面

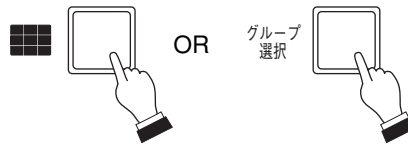
9フ'ンカツ
--------

- 2** 9分割画面キーまたはグループキーを押す。  
カメラ番号10～16（グループ2）  
がモニターに表示されます。

モニター画面（グループ1）

カメラ番号

01	02	03
04	05	06
07	08	09

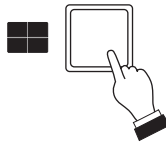


モニター画面（グループ2）

10	11	12
13	14	15
16		

[4分割画面で見る]

- 1** 4分割画面キーを押す。  
カメラ番号1～4（グループ1）が  
モニターに表示されます。



液晶画面

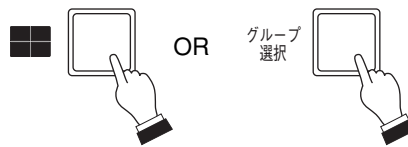
4フ'ンカツ
--------

- 2** 4分割画面キーまたはグループキーを押す。  
カメラ番号5～8（グループ2）が  
モニターに表示されます。  
キーを押すごとに、カメラ番号  
9～12（グループ3）、カメラ番号  
13～16（グループ4）がモニター  
に表示され、グループ1に戻って  
繰り返し表示します。

モニター画面（グループ1）

カメラ番号

01	02
03	04



モニター画面（グループ2）

05	06
07	08

## ● シーケンス表示で見る


スイッチャーに接続されているカメラの映像を、あらかじめスイッチャーで設定された一定の間隔で次々と切り換えてモニターに表示させることができます。接続されていないカメラの映像は表示されません。詳しくは、スイッチャーに付属の取扱説明書をお読みください。

### [1画面シーケンスで見る]

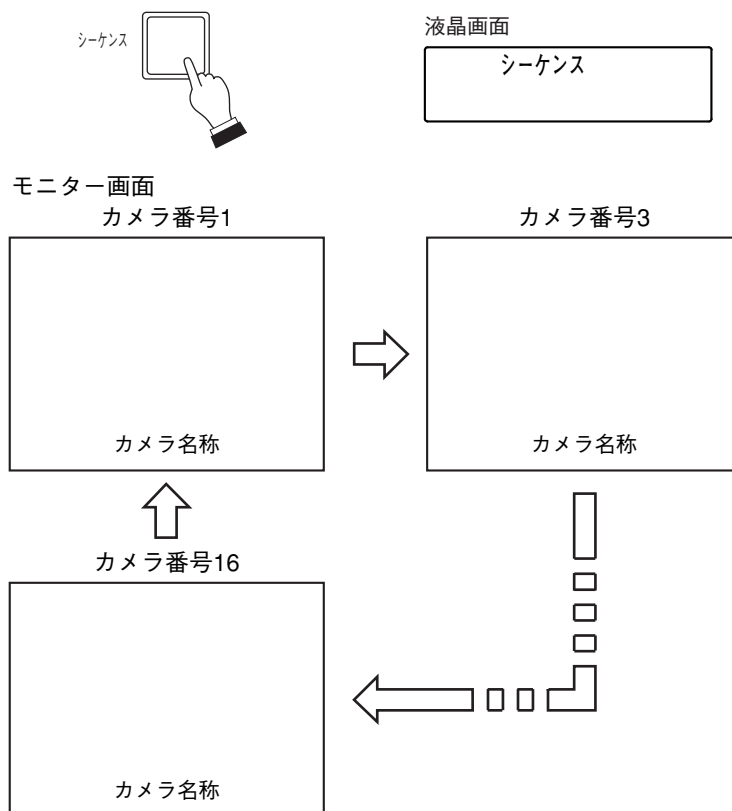
シーケンスキーを押す。

カメラ番号1～16の順に映像が切り換わります。

ただし、「ツアーシーケンス」機能を設定しているときは設定された再生番号順に換わります。

( P. 46 「ツアーシーケンス」)

※ この例では、カメラ番号2は未接続のため、モニターに表示されません。

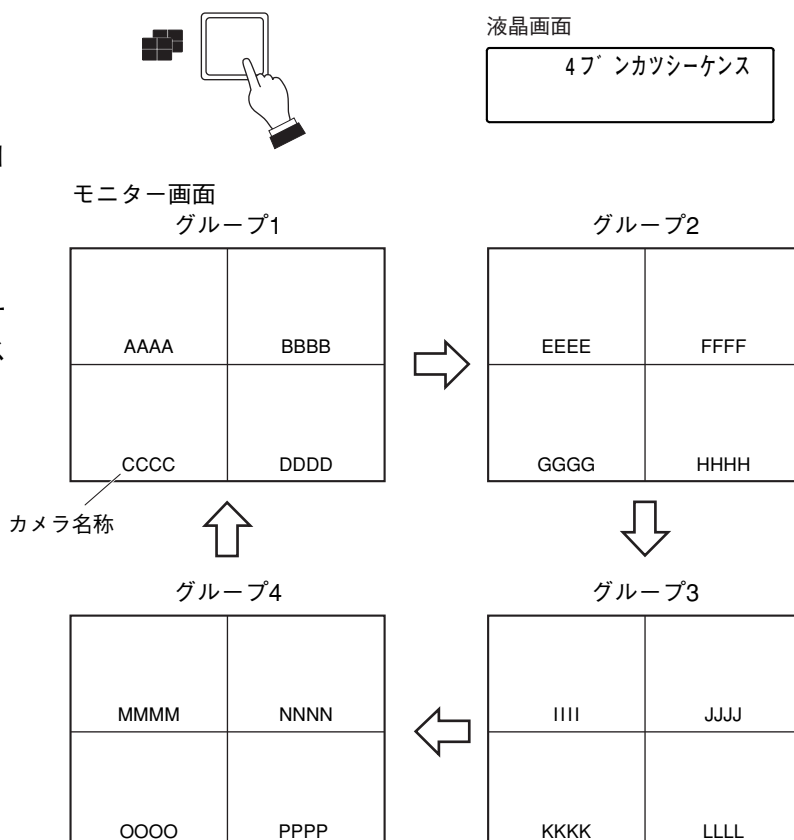


### [4分割シーケンスで見る]

**1** 4分割シーケンスキーを押す。

4分割画面のグループの映像が順次自動的に切り換わり表示されます。

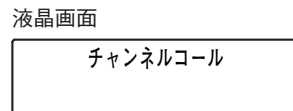
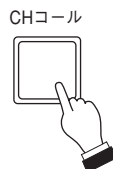
**2** もう一度4分割シーケンスキーを押すと、表示されている画面でシーケンス表示が止まります。



● カメラ番号を表示させる (マルチスイッチャー接続時のみ)

カメラ映像の画面表示中にCHコールキーを押す。  
接続されているすべてのカメラ番号を表示します。

※ カメラ番号は、カメラが接続されていないときも  
表示されます。

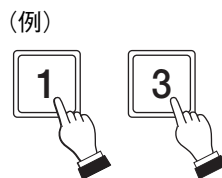


モニター画面  
(10分割表示画面のとき)

12		16	
01	02	03	04
05	06	07	08

● 静止画面を見る (マルチスイッチャー接続時のみ)

**1** テンキーで静止させたいカメラの番号  
を押す。

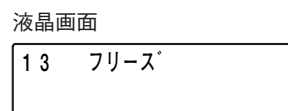
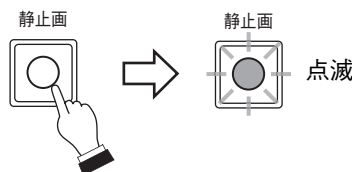


モニター画面  
(10分割表示画面のとき)

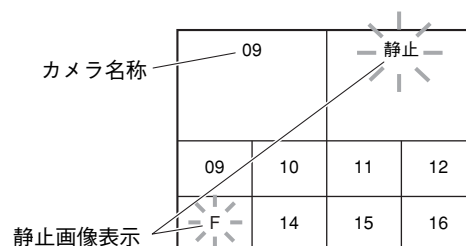
09		13	
09	10	11	12
13	14	15	16

**2** 静止画キーを押す。

該当するカメラの映像画面に、「F」  
または「静止」の文字が点滅表示され  
ます。

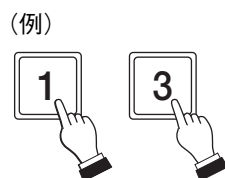


**3** 手順1～2を繰り返して、別のカメラ  
の映像を静止させる。

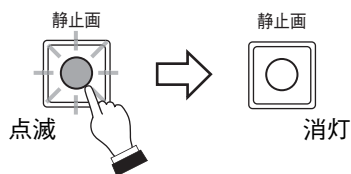


[個々の静止画を解除する]

**1** テンキーで解除したいカメラ番号を押す。



**2** 静止画キーを押す。



モニター画面  
(10分割表示画面のとき)

09		— 静止 —	
09	10	F	F
F	14	15	16

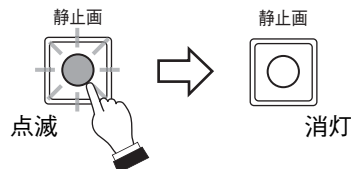


静止画像が解除

09		13	
09	10	F	F
13	14	15	16

[すべての静止画を解除する]

静止画キーを押す。




液晶画面



モニター画面  
(10分割表示画面のとき)

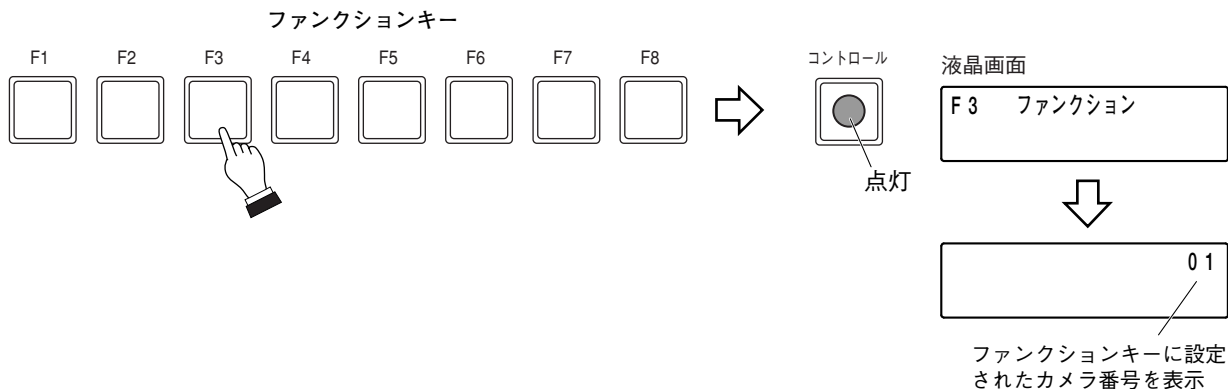
09		13	
09	10	11	12
13	14	15	16

## ● ファンクションキーを利用する

ファンクションキー（F1～F8）を押すだけで、各キーにあらかじめ設定されたカメラ映像（カメラ番号とポジション番号）をモニターに表示させることができます。（ P. 43 「ファンクション」）

ファンクションキー（F1～F8のいずれか）を押す。

設定されたカメラの映像（カメラ番号とポジション番号）がモニターに1画面表示されます。

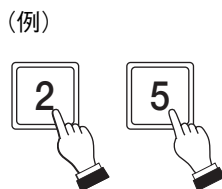


## ● 短縮登録を利用する

あらかじめ登録しておいた短縮番号をテンキーで入力した後にSETキーを押すだけで、設定されたカメラ映像（カメラ番号とポジション番号）をモニターに表示させることができます。

（ P. 45 「短縮」）

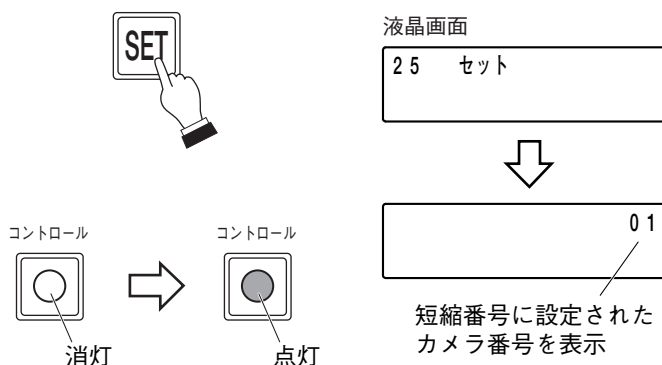
**1** テンキーで短縮番号を押す。




**2** SETキーを押す。

登録されたカメラ（ポジション）の映像が1画面表示されます。

また、指定されたカメラが制御可能なカメラの場合は、コントロールキーが点灯して、ジョイスティックなどでカメラの操作ができるようになります。

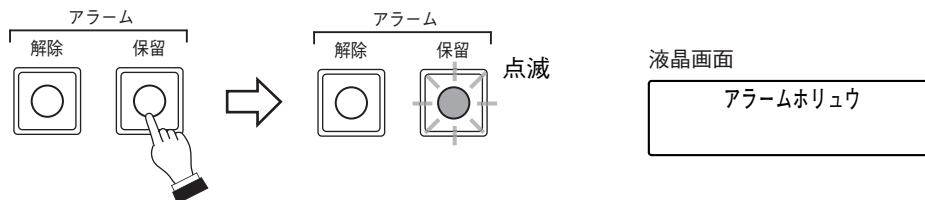


## ■ アラームの保留と解除

「アラーム保留」設定で「1. フロント」を選択しているときに操作できます。「2. ジョウジ」を選択しているときは動作しません。(  P. 42 「アラーム保留」)

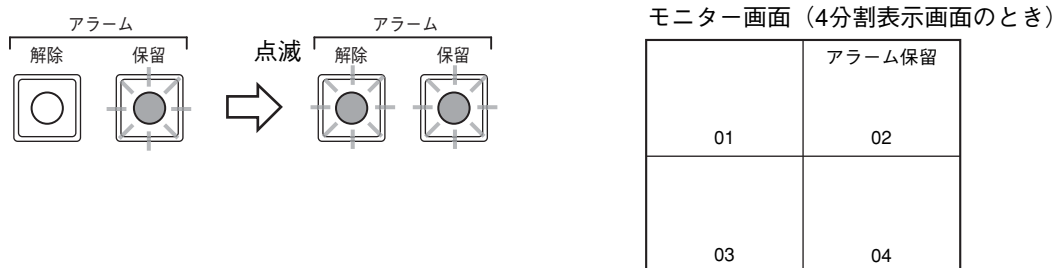
### ● アラームを保留する

アラーム保留キーを押す。  
アラーム保留キーが点滅します。



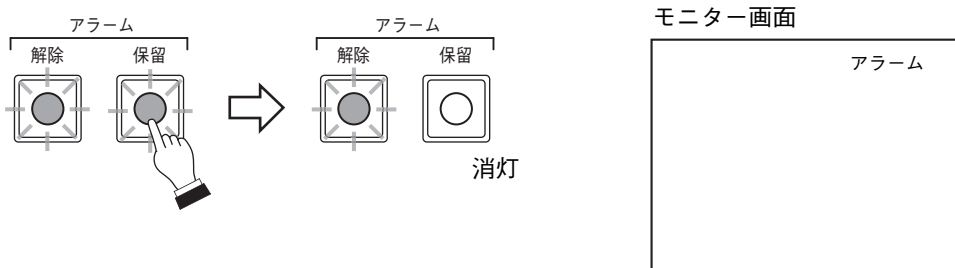
【アラーム保留中に、アラーム信号が入力されたとき】

アラーム解除キーが点滅し、同時に、モニターに「アラーム保留」の文字が表示されます。



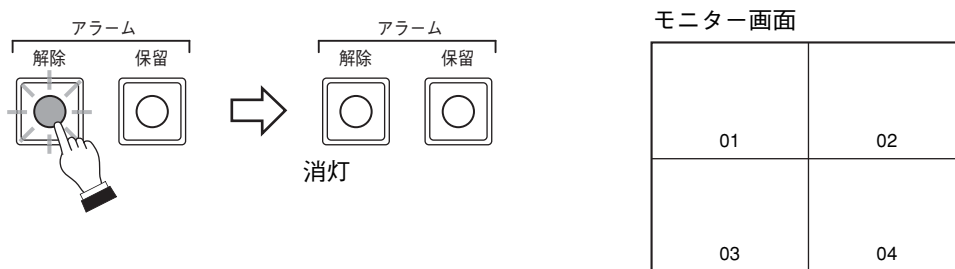
### ● アラーム入力されたカメラの映像を表示する

アラーム保留キーを押す。  
アラーム保留キーが消灯し、アラーム信号が入力されたカメラ映像をモニターに1画面で表示します。




### ● アラームを解除する

アラーム解除キーを押す。  
アラーム解除キーが消灯し、アラーム状態を解除します。



#### ご注意

「アラーム信号」設定で「2. レベル」が選択されているときは、アラームを解除できません。アラーム信号が入力されている間はアラーム状態が続きます。(  P. 41 「アラーム信号」)



# 設定のしかた

## ■ 設定項目の一覧と概要

動作モード*	( P. 29)	本機をマスター、スレーブまたはプロトコルコンバーターに設定します。
スイッチャ*	( P. 30)	本機に接続するスイッチャの種類を設定します。
プロトコル	( P. 31)	カメラ制御用プロトコル (RS-485 通信) を設定します。
カメラチェック	( P. 32)	カメラ制御端子に接続されているコンビネーションカメラを 30 秒間チェックします。
マニュアルスピード	( P. 33)	コンビネーションカメラのマニュアル操作時の回転最高速度を設定します。
オートキー	( P. 33)	タイプ B、ミカミ PTC のとき本機にオート動作を設定します。
時間調整	( P. 34)	コンビネーションカメラの時刻を合わせるときに設定します。
自動復帰	( P. 34)	カメラを操作した後、決まったポジション (ホームポジション) に自動的に向ける機能を設定します。
ホームポジション	( P. 35)	何も操作を受けていないときのコンビネーションカメラの待機状態を設定します。
I/O スピード*	( P. 36)	各制御端子の転送レートを設定します。
ブザー*	( P. 37)	アラーム入力時に、ブザーを鳴らすか鳴らさないかを設定します。
初期画面	( P. 37)	電源投入直後、モニターに表示する画面を設定します。
チャンネル指定	( P. 38)	電源投入時、最初に表示するチャンネル (カメラ番号) を設定します。
センサーアラーム	( P. 39)	センサーアラームを使用するときは「オン」にします。
カメラアラーム	( P. 39)	コンビネーションカメラのアラーム接点入力を使用するときは「オン」にします。
カメラアラームプリセット	( P. 40)	コンビネーションカメラからアラーム接点メイク情報を受信したとき、カメラを自動的に向けるポジション番号を設定します。 (「カメラアラーム」設定が「1. オン」のときのみ有効)
アラーム信号	( P. 41)	アラームの継続動作を設定します。
アラーム時間	( P. 41)	アラーム信号が入力されてから解除するまでの時間を設定します。
アラーム機能	( P. 42)	アラーム信号入力時にモニターに表示する方法を設定します。 (「アラーム信号」設定が「1. エッジ」のときのみ有効)
アラーム保留	( P. 42)	アラーム信号入力時のモニター表示の切り換えを設定します。
ファンクション	( P. 43)	ファンクションキーを押すだけで、カメラの映像 (カメラ番号とポジション番号) をモニターに表示できます。
短縮	( P. 45)	短縮番号 (テンキー入力) と SET キーを押すだけで、カメラの映像 (カメラ番号とポジション番号) をモニターに表示できます。
ツアーシーケンス	( P. 46)	複数のカメラ映像を、1～128 の再生番号順に指定した秒数間隔で連続的に切り換えて 1 画面表示します。
カメラメニュー	( P. 47)	カメラに搭載されているメニュー画面を立ち上げ、プリセットポジション記憶などコンビネーションカメラの各種設定を行います。
I/O 選択*	( P. 47)	RS-232C からマスターリモコンへ操作コマンドを出力する場合に設定します。
パスワード	( P. 48)	メニューを開くときのパスワードを設定します。

\*「動作モード」設定で「2. スレーブ」を選択しているときは、\*印の項目のみ設定します。このとき、その他の項目はメニュー画面に表示されません。

## ■ 設定に使用するキーと表示画面

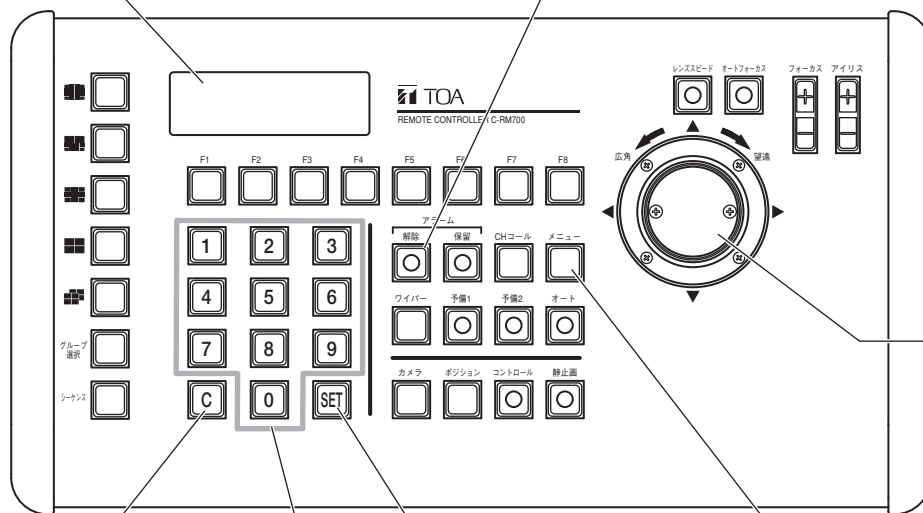
### [設定に使用するキー]

#### 液晶画面

設定項目や内容を表示します。

#### アラーム解除キー

パスワードの設定に使用します。



#### Cキー

設定内容を確認せずに、設定項目選択の状態に戻ります。

#### SETキー

設定項目や内容を確認します。

#### テンキー

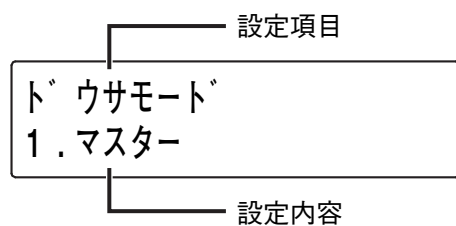
数字を入力するときに使用します。

#### メニューキー

長押しすると、液晶画面がメニュー画面に変わります。設定中に押すと、通常画面に戻ります。

ジョイスティック  
上下で設定項目の選択、  
左右で設定内容の選択  
をします。

### [液晶画面の表示]



## ■ 設定の基本操作

各設定項目についての基本的な操作手順を示します。

### ● パスワードが設定されていない場合

- 1 メニューキーを3秒以上押す。  
メニュー画面が表示されます。

トウサモード

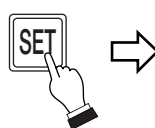
<以下、操作例>

- 2 ジョイスティックを上または下に倒して、設定項目を選択する。

(例)

シトウフッキ

- 3 SETキーを押して、設定項目を確定する。  
液晶画面の下段に、現在の設定内容（未設定のときは工場出荷時の設定内容）が表示されます。このとき、設定内容の1文字が点滅します。（点滅部は内容により異なります）



シトウフッキ  
1.オン

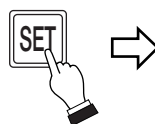
- 4 ジョイスティックを右または左に倒して、設定内容を選択する。

メモ

ここまでの手順の途中でCキーを押すと、設定内容を記憶しないで、SETキーが押される直前の画面（手順2）に戻ります。

シトウフッキ  
1.オン 10SEC

- 5 SETキーを押して、設定内容を確定する。  
設定項目を選択する表示画面（手順2）に戻ります。



シトウフッキ


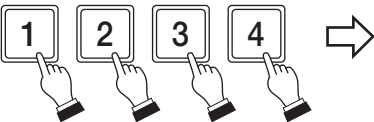
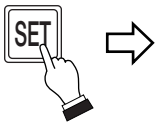
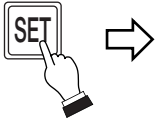
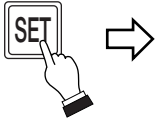
- 6 引き続き、別の項目を設定するときは、手順2～5を繰り返す。  
設定を終了して通常画面に戻るときは、メニューキーをもう一度押す。

### ■ ご注意

コンビネーションカメラが接続されていない状態でカメラチェックを行わず、メニューから通常画面に戻った際は、最大で30秒間キー入力を受け付けません。

## ● パスワードが設定されている場合

ただし、「パスワード」の設定はこの操作と異なりますので、P. 48 をお読みください。

- 1** メニューキーを3秒以上押す。  
パスワードの入力画面が表示されます。  
  
メニュー  
3秒以上押す  
液晶画面  
パスワード  
\*\*\*\*
- 2** テンキーでパスワード（4桁）を入力する。  
(例)  
  
液晶画面  
パスワード  
1234
- 3** SET キーを押す。  
パスワードが正しければ、メニュー画面が表示されます。  
<以下、操作例>  
  
メニュー画面  
トウサモード
- 4** ジョイスティックを上または下に倒して、設定項目を選択する。  
(例)  
ジョイスティック  
シフトウフッキ
- 5** SET キーを押して、設定項目を確定する。  
液晶画面の下段に、現在の設定内容（未設定のときは工場出荷時の設定内容）が表示されます。このとき、設定内容の1文字が点滅します。（点滅部は内容により異なります）  
  
液晶画面  
シフトウフッキ  
1.オン
- 6** ジョイスティックを右または左に倒して、設定内容を選択する。  
メモ  
ここまでの手順の途中でCキーを押すと、設定内容を記憶しないで、SETキーが押される直前の画面（手順4）に戻ります。  
ジョイスティック  
シフトウフッキ  
1.オン 10SEC
- 7** SET キーを押して、設定内容を確定する。  
設定項目を選択する表示画面（手順4）に戻ります。  
  
液晶画面  
シフトウフッキ
- 8** 引き続き、別の項目を設定するときは、手順4～7を繰り返す。  
設定を終了して通常画面に戻るときは、メニューキーをもう一度押す。

## ■ 機能を設定する

以下の各設定の手順は、P. 27「設定の基本操作」を参考に行ってください。

すべてのカメラを接続し、カメラの電源および本機の電源をONにして、カメラのイニシャライズ動作が終了した状態で、必ずカメラチェックを行ってください。(☞ P. 32「カメラチェック」)

### ● 動作モード

本機の動作モードを設定します。

**メ モ** 複数のコンビネーションカメラと共にプロトコルコンバーターとして使用する場合は、接続する場所によって「スレーブリモコン端子終端スイッチ」を切り換える必要があります。(☞ P. 49「接続機器の終端スイッチの設定」)

**1** メニューキーを3秒以上押して、メニュー画面を表示する。

**2** ジョイスティックを上下に倒して「ドウサモード」を選択し、SETキーを押して確定する。  
2行目に設定内容が表示されます。

ドウサモード
1. マスター

**3** ジョイスティックを左右に倒して下記の設定内容を選択し、SETキーを押して確定する。

[設定内容]

1. マスター	本機が1台のときは、必ずこの設定にします。 本機が2台のときは、一方をこの設定に、もう一方を「2. スレーブ」に設定にします。
2. スレーブ	本機が2台のときに、一方をこの設定に、もう一方を「1. マスター」にします。
3. プロトコル コンバーター	タイプBプロトコルをスレーブリモコン端子から受信して、カメラ制御端子に接続されたミカミ PTC 通信制御カメラを制御する場合に設定します。 制御できる機能（ミカミ PTC 制御）は以下の通りです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>● マニュアル動作</li> <li>● ワイパー（ワンショット）</li> <li>● オートパン（63ポジションがオートパンの左端点、64ポジションがオートパンの右端点になります。端点での停止時間は2秒、旋回速度はPTC-113が約6°/S、PTC-EP-RC200が約9°/S固定になります。）</li> <li>● プリセット移動</li> <li>● プリセットメモリー</li> <li>● アイリスオープン／アイリスクローズ</li> <li>● ライトON／OFF（タイムアウトなし）</li> <li>● シーケンシャルルート0～4（移動速度はMAX、停止時間は10秒固定になります。）</li> <li>● ランダムルート0～4（移動速度はMAX、停止時間は10秒固定になります。）</li> <li>● イニシャライズ起動</li> <li>● メモリー消去</li> </ul>

※ 工場出荷時の設定は、「1. マスター」です。

## ● スイッチャー

本機に接続するスイッチャーの種類を設定します。

**1** メニューキーを3秒以上押して、メニュー画面を表示する。

**2** ジョイスティックを上下に倒して「スイッチャ」を選択し、SETキーを押して確定する。  
2行目に設定内容が表示されます。



**3** ジョイスティックを左右に倒して下記の設定内容を選択し、SETキーを押して確定する。

[設定内容]

1. マルチ16	マルチスイッチャーの16局がスイッチャ制御端子（RS-485）に接続されている場合、またはスイッチャーが接続されていない場合に選択します。
2. マルチ9A	マルチスイッチャーの9局がスイッチャ制御端子（RS-485）に接続されていて、マルチスイッチャーの設定で4分割時のカメラ9が「オフ」の場合に選択します。
3. マルチ9B	マルチスイッチャーの9局がスイッチャ制御端子（RS-485）に接続されていて、マルチスイッチャーの設定で4分割時のカメラ9が「オン」の場合に選択します。

※ 工場出荷時の設定は、「1. マルチ16」です。

## ● プロトコル

カメラ制御用プロトコル（RS-485通信）を選択します。

**1** メニューキーを3秒以上押して、メニュー画面を表示する。

**2** ジョイスティックを上下に倒して「プロトコル」を選択し、SETキーを押して確定する。  
2行目に設定内容が表示されます。

プロトコル
2. TYPE B

**3** ジョイスティックを左右に倒して下記の設定内容を選択し、SETキーを押して確定する。

[設定内容]

1. TYPE A	タイプA通信制御カメラを接続する場合に選択します。
2. TYPE B	タイプB通信制御カメラを接続する場合に選択します。
3. TYPE B ONE WAY	コンビネーションカメラからの応答を受信せずに制御したい場合に選択します。
4. MIKAMI	ミカミ PTC 通信制御カメラを接続する場合に選択します。
5. TYPE B + MIKAMI	タイプBとミカミ PTC 通信制御カメラを接続する場合に選択します。

※ 工場出荷時の設定は、「2. TYPE B」です。

メモ

- 制御可能なカメラについては、P. 7「本機で制御可能な機器について」を参照してください。
  - TYPE B ONE WAY で使用する場合
    - C-CC511、C-CC514、C-CC571、C-CC574、C-CC711、C-CC714、C-CC771、C-CC774：  
DIP SW2 No.7を“ON”にしてください。（各カメラの設置説明書では、DIP SW2のNo.7は“未使用”となっていますが、TYPE B ONE WAY で使用する場合には、この設定が必要となります。）
    - C-CC704：DIP SW No.8を“ON”にしてください。（C-CC704の設置説明書では、DIP SWのNo.8は“未使用”となっていますが、TYPE B ONE WAY で使用する場合には、この設定が必要となります。）
- TYPE B ONE WAY で使用する場合は、オートフォーカス、予備1、予備2のLEDは点灯しません。また、1画面または多画面表示中に、操作するカメラの選択をしたときは、選択したカメラにかかわらずコントロールLEDが常時点灯します。
- 各オート動作を停止するときは、シフトキーに設定したファンクションキーを押しながらオートキーを押してください。
- 各予備接点をOFFにするときは、シフトキーに設定したファンクションキーを押しながら各予備キーを押してください。
- シフトキーの設定方法については、P. 43「ファンクション」を参照してください。

## ● カメラチェック

カメラ制御端子に接続されているコンビネーションカメラを30秒間でチェックします。

### ご注意

- プロトコル設定で「TYPE B ONE WAY」を選択したとき以外は、必ず実行してください。
- 一度カメラチェックを行うと、チェックを行ったときに認識したカメラしか制御できなくなります。認識されないカメラがある場合や、新たにカメラを増設したときは、必ずもう一度カメラチェックを行ってください。また、複数回カメラチェックを行っても認識されないカメラがあるときは、カメラ側のプロトコル、通信速度設定、結線、および本機のプロトコル、I/Oスピード設定に問題がないか確認してください。

**1** メニューキーを3秒以上押して、メニュー画面を表示する。

**2** ジョイスティックを上下に倒して「カメラチェック」を選択し、SETキーを押す。

**3** ジョイスティックを左右に倒して、下記の設定内容を選択し、SETキーを押して確定する。

[ 「1.スタート」を押したとき ]

30秒間かけてカメラチェックを行います。チェック中は、入力操作は受け付けられません。

1行目右端に秒数が表示され、「30」からスタートし、カウントダウンします。

2行目に、接続されているコンビネーションカメラのカメラ番号が順次表示されます。

(例) 

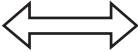
カメラチェック	20
1, 2, 3, 4, 5, 11, 12→	

30秒のチェック後に「OK」と表示されます。

カメラチェック	OK
1, 2, 3, 4, 5, 11, 12→	

チェック完了後は、ジョイスティックの左右操作で画面をスクロールさせて、接続されているカメラを確認できます。

カメラチェック	OK
1, 2, 3, 4, 5, 11, 12→	



カメラチェック	OK
←13, 14	

[ 「2.クリア」を押したとき ]

出荷状態に戻ります。

**4** Cキーを押して、メニュー画面に戻る。



## ● マニュアルスピード（プロトコル：タイプBのみ）

コンビネーションカメラのマニュアル操作時の回転最高速度を設定します。

**1** メニューキーを3秒以上押して、メニュー画面を表示する。

**2** ジョイスティックを上下に倒して「マニュアルスピード」を選択し、SETキーを押して確定する。  
2行目に設定内容が表示されます。

マニュアルスピード
1. 24° / SEC

**3** ジョイスティックを左右に倒して下記の設定内容を選択し、SETキーを押して確定する。

[設定内容]

1. 24° / SEC	3. 60° / SEC	5. 120° / SEC	7. 240° / SEC
2. 40° / SEC	4. 90° / SEC	6. 160° / SEC	8. 360° / SEC

※ 工場出荷時の設定は、「5. 120° / SEC」です。

## ● オートキー（タイプB、ミカミPTCのみ本機で設定）

コンビネーションカメラのオート機能（オートパン、オートトレース、プリセットシーケンス、ツアー）のいずれかをON/OFFします。コントロール表示灯が点灯しているときのみ有効です。

**メ** **モ** タイプAの場合は、コンビネーションカメラでオート動作を設定します。

**1** メニューキーを3秒以上押して、メニュー画面を表示する。

**2** ジョイスティックを上下に倒して「オートキー」を選択し、SETキーを押して確定する。  
2行目に設定内容が表示されます。

オートキー
1. オートパン

**3** ジョイスティックを左右に倒して下記の設定内容を選択し、SETキーを押して確定する。

[設定内容]

1. オートパン	自動水平旋回機能呼び出します。
2. オートトレース1 ～9. オートトレース8	手動によるカメラ操作をカメラに記憶させ、その操作を自動再生する機能呼び出します。
10. プリセットシーケンス	カメラに設定されたプリセット番号順に自動再生する機能呼び出します。
11. ツアー1 ～26. ツアー16	ツアーは、各カメラに記憶させたツアー呼び出します。

※ 工場出荷時の設定は、「1. オートパン」です。

### ご注意

使用できる機能はカメラによって異なります。機能については、P. 58「オートキーの設定」を参照してください。

## ● 時間調整 (プロトコル：タイプBのみ)

アラーム出力／制御端子 (23 番ピン) が GND とメイクされたときに、コンビネーションカメラ内蔵の時計を合わせることができます。時計調整の可能なカメラは C-CC511、C-CC514、C-CC571、C-CC574、C-CC771、C-CC774 です。(参照 P. 52 「アラーム出力／制御入力端子の接続」)

**1** メニューキーを 3 秒以上押して、メニュー画面を表示する。

**2** ジョイスティックを上下に倒して「ジカンチョウセイ」を選択し、SET キーを押して確定する。

2 行目に設定内容が表示されます。

ジ`カンチョウセイ 1. OFF
---------------------

**3** ジョイスティックを左右に倒して下記の設定内容を選択し、SET キーを押して確定する。

[設定内容]

1. OFF	時刻合わせを行いません。
2. 1:00 ~ 24. 23:00	時間調整の接点入力を受ける時刻を設定します。その時刻に合わせたコマンドをカメラに送ります。

## ● 自動復帰

カメラを操作した後、あらかじめ設定した時間が経過するまでに同じカメラに対して新たに操作しなかった場合、決まったポジション (ホームポジション) に自動的に向ける機能を設定します。

**1** メニューキーを 3 秒以上押して、メニュー画面を表示する。

**2** ジョイスティックを上下に倒して「ジドウフッキ」を選択し、SET キーを押して確定する。

2 行目に設定内容が表示されます。

ジ`ドウフッキ 1. オン
------------------

**3** ジョイスティックを左右に倒して下記の設定内容を選択し、SET キーを押して確定する。

[設定内容]

1. オン	この設定内容を確定すると、カメラ操作終了後から自動復帰するまでの時間を選択する画面が表示されます。 <table border="1"><tr><td>ジ`ドウフッキ 1. オン 10 SEC</td></tr></table> 復帰時間は、ジョイスティックの左右操作で「10SEC」「15SEC」「20SEC」「30SEC」「1MIN」「2MIN」「3MIN」「4MIN」「5MIN」から選択し、SET キーで確定します。 ※ 復帰時間の「SEC」は秒、「MIN」は分を表しています。	ジ`ドウフッキ 1. オン 10 SEC
ジ`ドウフッキ 1. オン 10 SEC		
2. オフ	自動復帰しません。	

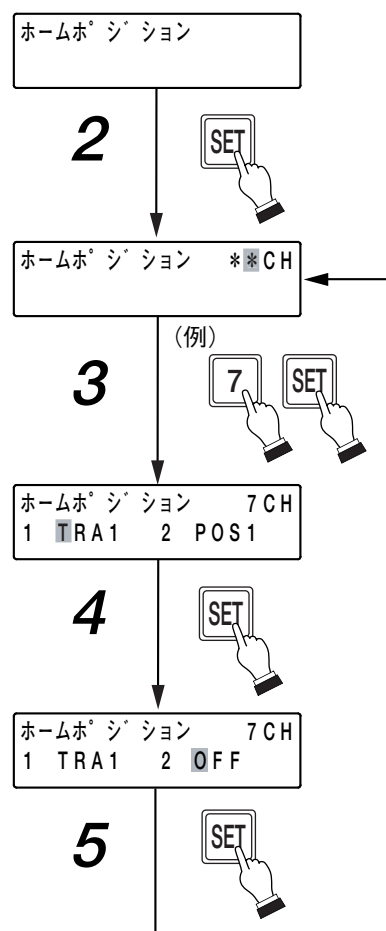
※ 工場出荷時の設定は、「2. オフ」です。

**ご注意** コンビネーションカメラでタイマープログラム機能、アラームアクション機能等を使用している場合は、コンビネーションカメラ自体の動作が優先となるため、コンビネーションカメラの自動復帰機能を使用してください。本機の自動復帰機能は動作しない場合があります。

## ● ホームポジション

自動復帰したときのコンビネーションカメラの状態を設定します。

- 1 メニューキーを3秒以上押して、メニュー画面を表示する。
- 2 ジョイスティックを上下に倒して「ホームポジション」を選択し、SETキーを押して確定する。  
ホームポジションを設定するチャンネル（カメラ番号）の入力画面になります。
- 3 テンキーでチャンネルを入力し、SETキーを押して確定する。  
2行目に動作内容が表示され、カーソルの点滅が「1」（左側）に移ります。  
左側の表示「1」は、本機後面のアラーム出力／制御入力端子内のホームポジション選択入力端子がブレイクされているときの動作内容を示しています。  
同様に右側の表示「2」は、同端子がメイクされたときの動作内容を示しています。  
(参照 P. 52 「アラーム出力／制御入力端子の接続」)
- 4 ジョイスティックを左右に倒して、「1」の動作内容を下表から選択し、SETキーを押して確定する。  
カーソルの点滅が「2」（右側）に移ります。
- 5 ジョイスティックを左右に倒して、「2」の動作内容を下表から選択し、SETキーを押して確定する。
- 6 引き続き別のチャンネルを設定するときは、手順3～5を繰り返す。  
設定項目の表示に戻るときは、Cキーを押す。



### [ホームポジション選択端子の動作内容]

POS1	カメラに設定されているポジション1にカメラを向けます。
POS2	カメラに設定されているポジション2にカメラを向けます。
PAN	オートパン動作をします。
TRA1～8	オートトレース動作をします。
P-SEQ	プリセットシーケンス動作をします。
TOU1～16	ツアー動作をします。
OFF	ホームポジションの設定を行いません。

※ 工場出荷時の設定は、「POS1」です。

### ご注意

- ホームポジションが設定できるコンビネーションカメラを接続している場合は、カメラのホームポジションと一致させてください。
- 「POS2」「TRA1～8」「P-SEQ」「TOU1～16」を選択する場合は、必ずカメラの各設定を行ってください。正しく設定されていないと誤動作することがあります。
- 使用できる機能はカメラによって異なります。機能については、P. 58 「オートキーの設定」を参照してください。

## ● I/O スピード

各制御端子の転送レートを設定します。

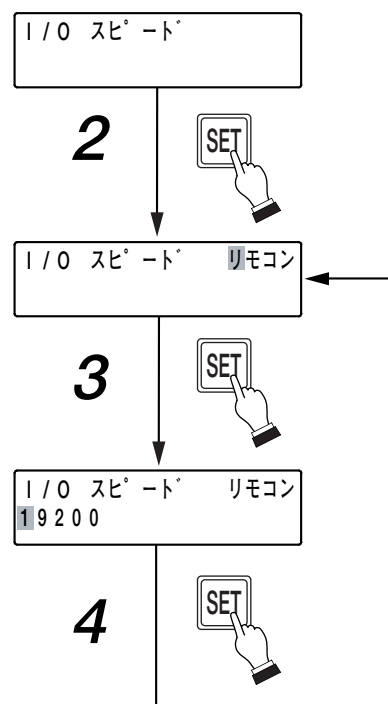
- 1 メニューキーを3秒以上押して、メニュー画面を表示する。
- 2 ジョイスティックを上下に倒して「I/O スピード」を選択し、SET キーを押して確定する。  
制御端子を選択する表示になります。
- 3 ジョイスティックを左右に倒して「カメラ」「スイッチャ」「リモコン」「アラーム」から選択し、SET キーを押して制御端子を確定する。  
2行目に転送レートが表示されます。  
このとき、すでに設定されている内容が表示されます。
- 4 ジョイスティックを左右に倒して「4800」「9600」「19200」「38400」から選択し、SET キーを押して転送レートを確定する。

### ご注意

各制御端子に接続されている機器と同じ内容に設定してください。

制御端子	工場出荷時の設定
カメラ	38400 bps
スイッチャ	19200 bps
リモコン	19200 bps
アラーム	38400 bps

- 5 引き続き別の制御端子を設定するときは、手順3～4を繰り返す。  
設定項目の表示に戻るときは、C キーを押す。



## ● ブザー

アラーム入力時に、ブザーを鳴らすか鳴らさないかを設定します。

**1** メニューキーを3秒以上押して、メニュー画面を表示する。

**2** ジョイスティックを上下に倒して「ブザー」を選択し、SETキーを押して確定する。  
2行目に設定内容が表示されます。

ブザー
1. オン

**3** ジョイスティックを左右に倒して下記の設定内容を選択し、SETキーを押して確定する。

[設定内容]

1. オン	アラーム入力時にブザーを鳴らします。
2. オフ	アラーム入力時にブザーを鳴らしません。

※ 工場出荷時の設定は、「1. オン」です。

## ● 初期画面

電源投入直後、モニターに表示させる画面を設定します。

**1** メニューキーを3秒以上押して、メニュー画面を表示する。

**2** ジョイスティックを上下に倒して「シヨキガメン」を選択し、SETキーを押して確定する。  
2行目に設定内容が表示されます。

シヨキガメン
1. 1ガメン

**3** ジョイスティックを左右に倒して下記の設定内容を選択し、SETキーを押して確定する。

**ご注意** 設定内容は、システムに接続しているスイッチャーによって異なります。

[設定内容]

スイッチャーの種類	設定内容
マルチスイッチャー	1. 1ガメン (1画面) 2. シーケンス (シーケンス) 3. 4ブンカツSEQ (4分割シーケンス) 4. 4ブンカツ (4分割) 5. 9ブンカツ (9分割) 6. 10ブンカツ (10分割) 7. 16ブンカツ (16分割)  <b>ご注意</b> 必ず接続しているスイッチャーと同じ内容に設定してください。 ※ 工場出荷時の設定は、「1.1ガメン」です。

## ● チャンネル指定

電源投入時、最初に表示するチャンネル（カメラ番号）を設定します。

### 【ご注意】

「初期画面」設定で、「1. 1 ガメン」「4. 4 ブンカツ」「5. 9 ブンカツ」「6. 10 ブンカツ」のいずれかが選択されているときのみ設定できます。これ以外を選択しているときは、メニュー画面にこの設定項目が表示されません。

- 1 メニューキーを3秒以上押して、メニュー画面を表示する。
- 2 ジョイスティックを上下に倒して「チャンネルシテイ」を選択し、SETキーを押して確定する。  
2行目に、「初期画面」の設定に応じた設定内容が表示されます。
- 3 テンキーやジョイスティックを使って、「初期画面」の設定に応じた設定内容を選択し、SETキーを押して確定する。（下表を参照）

[設定内容]

「初期設定」の設定	設定内容
1. 1 ガメン（1画面）	<p>指定したいチャンネルをテンキーで入力し、SETキーを押して確定します。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">           チャンネルシテイ  <b>1</b> 2 3チャンネル         </div> <p>※ 工場出荷時の設定は、「1」です。</p>
4. 4 ブンカツ（4分割）	<p>ジョイスティックを左右に倒して「1→4」「5→8」「9→12」「13→16」のいずれかを選択し、SETキーで確定します。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">           チャンネルシテイ  <b>1</b>→4         </div> <p>※ 工場出荷時の設定は、「1→4」です。</p>
5. 9 ブンカツ（9分割）	<p>ジョイスティックを左右に倒して「1→9」または「10→16」を選択し、SETキーで確定します。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">           チャンネルシテイ  <b>1</b>→9         </div> <p>※ 工場出荷時の設定は、「1→9」です。</p>
6. 10 ブンカツ（10分割）	<p>ジョイスティックを左右に倒して「1→8」または「9→16」を選択し、SETキーで確定します。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">           チャンネルシテイ  <b>1</b>→8         </div> <p><b>【ご注意】</b> 必ず接続しているスイッチャーと同じ内容に設定してください。</p> <p>※ 工場出荷時の設定は、「1→8」です。</p>

## ● センサーアラーム

アラーム入力端子（C-AL80、カメラアラーム等）を使用するときは「1. オン」に設定します。

**1** メニューキーを3秒以上押して、メニュー画面を表示する。

**2** ジョイスティックを上下に倒して「センサーアラーム」を選択し、SETキーを押して確定する。  
2行目に設定内容が表示されます。

センサーアラーム 1. オン
-------------------

**3** ジョイスティックを左右に倒して下記の設定内容を選択し、SETキーを押して確定する。

[設定内容]

1. オン	アラーム入力端子よりアラームを受信する場合に使用します。
2. オフ	アラーム入力端子よりアラームを受信しません。

※ 工場出荷時の設定は、「2. オフ」です。

## ● カメラアラーム

コンビネーションカメラのアラーム接点入力を使用するときは「1. オン」に設定します。

**1** メニューキーを3秒以上押して、メニュー画面を表示する。

**2** ジョイスティックを上下に倒して「カメラアラーム」を選択し、SETキーを押して確定する。  
2行目に設定内容が表示されます。

カメラ アラーム 1. オン
-------------------

**3** ジョイスティックを左右に倒して下記の設定内容を選択し、SETキーを押して確定する。

[設定内容]

1. オン	コンビネーションカメラのアラーム接点入力を使用します。
2. オフ	コンビネーションカメラのアラーム接点入力を使用しません。

※ 工場出荷時の設定は、「2. オフ」です。

### ご注意

- カメラにアラーム設定およびアラームレポート設定がある場合は、使用するアラーム接点番号のレポート設定をONにしてください。
- ミカミ PTC 通信制御カメラでは使用できません。

## ● カメラアラームプリセット

コンビネーションカメラからアラーム接点メイク情報を受信したとき、カメラを自動的に向けるポジション番号を設定します。

カメラの8つのアラーム接点入力それぞれに別のプリセット再生ポジションを設定できます。また、アラームを受信したカメラの接点出力をアラームと連動させてメイクする設定もできます。カメラによって接点入力数の違いがあります。

### 【ご注意】

- 「カメラアラーム」設定で「1. オン」が選択されているときのみ設定できます。「2. オフ」が選択されているときは、メニュー画面にこの設定項目が表示されません。
- カメラにアラーム設定およびアラームレポート設定がある場合は、使用するアラーム接点番号のレポート設定をONにしてください。
- カメラのアラームアクション設定を使用する場合は、カメラアラームプリセット設定を使用しないでください。
- ミカミ PTC 通信制御カメラは使用できません。
- プロトコル設定で「TYPE B ONE WAY」を選択した場合は使用できません。

**1** メニューキーを3秒以上押して、メニュー画面を表示する。

**2** ジョイスティックを上下に倒して「カメラアラームプリセット」を選択し、SETキーを押して確定する。  
2行目にカメラアラームプリセット内容が表示され、カメラ番号の入力待ちになります。

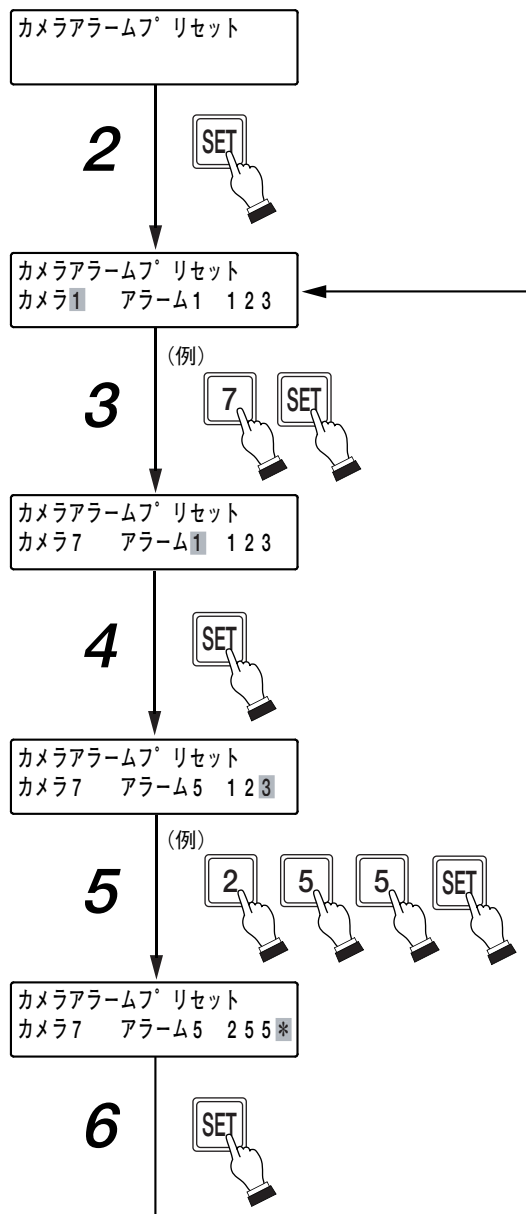
**3** テンキーでカメラ番号を入力し、SETキーを押して確定する。  
カーソルの点滅が、アラーム番号に移ります。

**4** ジョイスティックを左右に倒して、アラーム番号を選択し、SETキーを押して確定する。  
カーソルの点滅が、プリセットポジション番号に移ります。

**5** テンキーを押して、アラーム接点がメイクされたときに表示したいポジション番号を入力し、SETキーを押して確定する。  
カーソルの点滅が、右端に移ります。

**6** ジョイスティックを左右に倒して、「」（スペース）または「\*」を選択し、SETキーを押して、設定内容を確定する。  
予備接点出力2があるカメラの場合、「\*」を選択すると、カメラのアラーム接点がメイクしたとき、カメラの予備接点出力2をメイクすることができます。

**7** 引き続き、別のカメラアラームプリセット設定するときには、手順3～6を繰り返す。  
設定項目の表示に戻るときは、Cキーを押す。



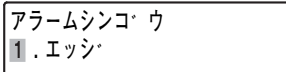


## ● アラーム信号

アラームの継続動作を設定します。

**1** メニューキーを3秒以上押して、メニュー画面を表示する。

**2** ジョイスティックを上下に倒して「アラームシンゴウ」を選択し、SETキーを押して確定する。  
2行目に設定内容が表示されます。



**3** ジョイスティックを左右に倒して下記の設定内容を選択し、SETキーを押して確定する。

[設定内容]

1. エッジ	「アラーム時間」設定（次項）で設定した時間が経過したときや、アラーム解除入力が入ったときに、アラーム動作を終了します。
2. レベル	アラーム入力端子がアラーム終了データを受信したときに、アラーム動作を終了します。また、「カメラアラーム」設定で「1. オン」が選択されている場合、カメラから送信されてくるアラーム接点のデータがすべてメイクからブレイクデータになったときに、アラーム動作を終了します。

※ 工場出荷時の設定は、「1. エッジ」です。

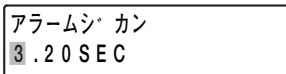
## ● アラーム時間

アラームが入力されてから解除するまでの時間を設定します。

**ご注意** 「アラーム信号」設定で「1. エッジ」が選択されているときのみ設定できます。「2. レベル」が選択されているときは、メニュー画面にこの設定項目が表示されません。

**1** メニューキーを3秒以上押して、メニュー画面を表示する。

**2** ジョイスティックを上下に倒して「アラームジカン」を選択し、SETキーを押して確定する。  
2行目に設定内容が表示されます。



**3** ジョイスティックを左右に倒して下記の設定内容を選択し、SETキーを押して確定する。

[設定内容]

1. 10SEC (10秒)	6. 2MIN (2分)
2. 15SEC (15秒)	7. 3MIN (3分)
3. 20SEC (20秒)	8. 4MIN (4分)
4. 30SEC (30秒)	9. 5MIN (5分)
5. 1MIN (1分)	10. ムゲン (制限なし)

※ 工場出荷時の設定は、「3. 20SEC」です。

**ご注意**

- 「ムゲン」に設定すると、本機上面のアラーム解除キーを押したときだけアラームを解除することができません。
- カメラにアラーム時間の設定がある場合は、カメラのアラーム時間設定と一致させてください。

## ● アラーム機能

アラーム信号が入力されたときに、映像をモニターに表示する方法を設定します。

**1** メニューキーを3秒以上押して、メニュー画面を表示する。

**2** ジョイスティックを上下に倒して「アラームキノウ」を選択し、SETキーを押して確定する。  
2行目に設定内容が表示されます。

アラームキノウ
1. シーケンス

**3** ジョイスティックを左右に倒して下記の設定内容を選択し、SETキーを押して確定する。

[設定内容]

1. シーケンス	アラーム信号が入力中のカメラの映像を、アラーム信号の入力順に切り換えながら（シーケンス動作）モニターに1画面表示します。
2. ラスト	最後にアラーム信号が入力されたカメラの映像を、モニターに1画面表示します。

※ 工場出荷時の設定は、「1. シーケンス」です。

## ● アラーム保留

監視カメラシステムのアラーム信号入力を、常時、保留状態にします。


**1** メニューキーを3秒以上押して、メニュー画面を表示する。

**2** ジョイスティックを上下に倒して「アラームホリユウ」を選択し、SETキーを押して確定する。  
2行目に設定内容が表示されます。

アラームホリユウ
1. フロント

**3** ジョイスティックを左右に倒して下記の設定内容を選択し、SETキーを押して確定する。

[設定内容]

1. フロント	本機前面パネルのキー操作で、アラームの保留・解除ができます。 (  P. 24 「アラームの保留と解除」)
2. ジョウジ	アラーム信号が入力されたときに、常にアラーム保留の状態になります。 アラーム入力時に画面を自動的に切り換えたくないときは、この設定にします。

※ 工場出荷時の設定は、「1. フロント」です。

## ● ファンクション

ファンクションキー（F1～F8）を押すだけで、カメラの映像（カメラ番号とポジション番号）をモニターに表示させることができます。また、カメラに複数のオート動作を指示したり、アラーム接点の開閉を制御したりすることができます。

**1** メニューキーを3秒以上押して、メニュー画面を表示する。

**2** ジョイスティックを上下に倒して「ファンクション」を選択し、SETキーを押して確定する。

2行目に設定内容が表示され、ファンクションキーの入力待ちになります。

カメラ番号やポジション番号が事前に登録されていないとき、番号は「\*\*\*」と表示されます。

**3** ジョイスティックを左右に倒して、設定したいファンクションキーを選択し、SETキーを押して確定する。

カーソルの点滅がカメラ番号に移ります。

**4** テンキーでカメラ番号を入力し、SETキーを押して確定する。

番号は1～16の範囲で入力してください。

カーソルの点滅がポジション番号に移ります。

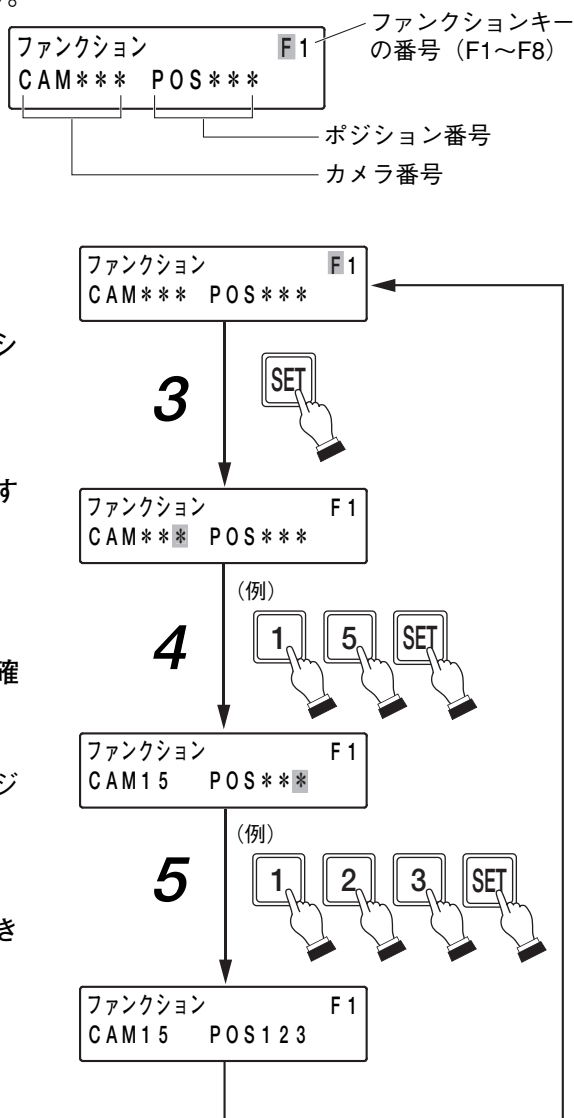
**5** テンキーでポジション番号を入力し、SETキーを押して確定する。

番号は1～255の範囲で入力してください。

☒ ☒ 「0」を入力すると、1画面表示に切り換え、ポジション再生は行いません。

**6** 引き続き、モニターに表示するカメラ映像を設定するときは手順3～5を繰り返す。

設定項目の表示に戻るときは、Cキーを押す。



### [オート動作を設定する]

上記の手順1～3を設定した後、ジョイスティックを上下に倒して下記の設定内容を選択し、SETキーを押して確定する。

ファンクション F1  
オートパン

オートパン	カメラメニューで設定した2点間をパンし続けます。
オートトレース1～8	カメラメニューで設定したマニュアル操作を繰り返します。
プリセットシーケンス	カメラに記憶されているポジションを、設定された順番に再生します。
ツアー1～16	カメラメニューで設定したツアーを実行します。
シフト	任意のファンクションキーをシフトキーとして割り当てます。シフトキーの使いかたはP. 44を参照してください。

**ご注意** 使用できる機能は、カメラやプロトコルによって異なります。機能については、P. 59「ファンクションキーの設定」を参照してください。

### [設定内容を消去する]

アラーム解除キーを押した後、SETキーを押す。

[シフトキーの機能]

メニューを起動することなく、プリセット記憶やトレース記憶を行うことができます。

設定項目	入力番号	キー組み合わせ	プロトコル		
			TYPE A	TYPE B	MIKAMI
ポジション記憶	1～255	シフトキー+ポジションキー3秒間	○	○	○
ポジション記憶消去	1～255	シフトキー+Cキー3秒間	×	○*4	○
トレース記憶開始 (トレース1～8)	301～308	シフトキー+ポジションキー3秒間	×	○*1	○*2
トレース記憶終了	300	シフトキー+ポジションキー3秒間	×	○	○
オートパン左端点記憶	317	シフトキー+ポジションキー3秒間	×	○	×
オートパン右端点記憶	319	シフトキー+ポジションキー3秒間	×	○	×
オートパン左端点記憶消去	317	シフトキー+Cキー3秒間	×	○	×
オートパン右端点記憶消去	319	シフトキー+Cキー3秒間	×	○	×

\*1 TYPE B プロトコルは、機器によって記憶できるトレースの数が異なります。

記憶トレース数2：C-CC511、C-CC514、C-CC571、C-CC574、C-CC711、C-CC714、  
C-CC771、C-CC774

記憶トレース数8：C-CC704

\*2 ミカミ PTC プロトコルは、トレース記憶は1のみとなります。

\*3 オートパンは、63ポジションを左端点、64ポジションを右端点として動作します。カメラメニューのスタート位置、ストップ位置の設定では動作させることができません。

\*4 TYPE B プロトコルでホームポジション記憶消去のポジション番号「1」を消去したときは、工場出荷時のポジションに戻ります。ただし、C-CC704はポジション番号「1」も消去されます。

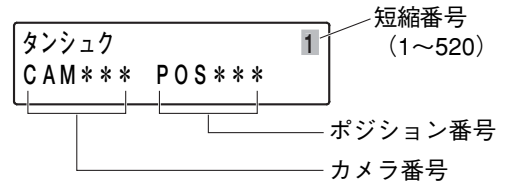
## ● 短 縮

あらかじめ登録しておいた短縮番号（テンキー入力とSETキー）を押すだけで、カメラの映像（カメラ番号とポジション番号）をモニターに表示させることができます。カメラ番号、またはカメラ番号とポジション番号は、255とおりまで設定できます。（機能は、「ファンクション」と同じです。）

**1** メニューキーを3秒以上押して、メニュー画面を表示する。

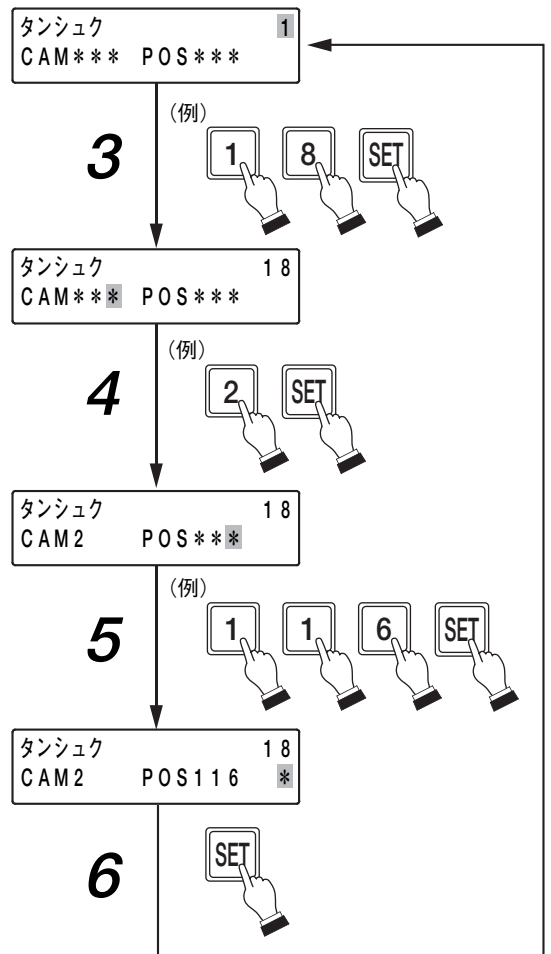
**2** ジョイスティックを上下に倒して「タンシュク」を選択し、SETキーを押して確定する。

2行目に設定内容が表示され、短縮番号の入力待ちになります。



**3** ジョイスティックの左右操作またはテンキーで、設定したい短縮番号を入力し、SETキーを押して確定する。

番号は、1～520の範囲で入力してください。  
カーソルの点滅がカメラ番号に移ります。



**4** テンキーでカメラ番号を入力し、SETキーを押して確定する。

番号は1～16の範囲で入力してください。  
カーソルの点滅がポジション番号に移ります。

**5** テンキーでポジション番号を入力し、SETキーを押して確定する。

番号は1～255の範囲で入力してください。

メモ

「0」を入力すると、1画面表示に切り換え、ポジション再生は行いません。

### [アラーム接点のメイクを設定する]

カメラ番号やポジション番号が確定すると、カーソルの点滅が2行目右端のアラーム接点出力選択表示に移ります。

**6** ジョイスティックを左右に倒して、「 」(スペース) または「\*」を選択し、SETキーを押して確定する。

予備接点出力2があるカメラの場合、「\*」を選択すると、設定した短縮番号のカメラにアラームが入力されたとき、カメラの予備接点出力2をメイクすることができます。

**7** 引き続き、短縮番号を設定するときは手順3～6を繰り返す。

設定項目の表示に戻るときは、Cキーを押す。

### [設定内容を消去する]

アラーム解除キーを押した後、SETキーを押す。

## ● ツアーシーケンス

ツアーシーケンスは、複数のカメラ映像を指定した秒数間隔で連続的に切り換える機能です。シーケンスキーを押すだけで、最大16台のカメラ映像を、設定した再生番号順に1画面に順次表示します。再生番号ごとに、カメラ番号・ポジション番号・表示時間を設定することができます。

**1** メニューキーを3秒以上押して、メニュー画面を表示する。

**2** ジョイスティックを上下に倒して「ツアーシーケンス」を選択し、SETキーを押して確定する。

この機能の使用（YES）／未使用（NO）の選択待ちになります。

**3** ジョイスティックを左右に倒して「YES」または「NO」を選択し、SETキーを押して確定する。

「YES」を選択すると、2行目に設定内容が表示され、再生番号の入力待ちになります。

カメラ番号やポジション番号が事前に登録されていないとき、番号は「\*\*\*」と表示されます。

**4** ジョイスティックの左右操作またはテンキーで、再生する順の番号を入力し、SETキーを押して確定する。

番号は、1～128の範囲で入力してください。カーソルの点滅がカメラ番号に移ります。

**5** テンキーでカメラ番号を入力し、SETキーを押して確定する。

番号は1～16の範囲で入力してください。カーソルの点滅がポジション番号に移ります。

**6** テンキーでポジション番号を入力し、SETキーを押して確定する。

番号は1～255の範囲で入力してください。

**メ** **モ** 「0」を入力すると、1画面表示に切り換え、ポジション再生は行いません。

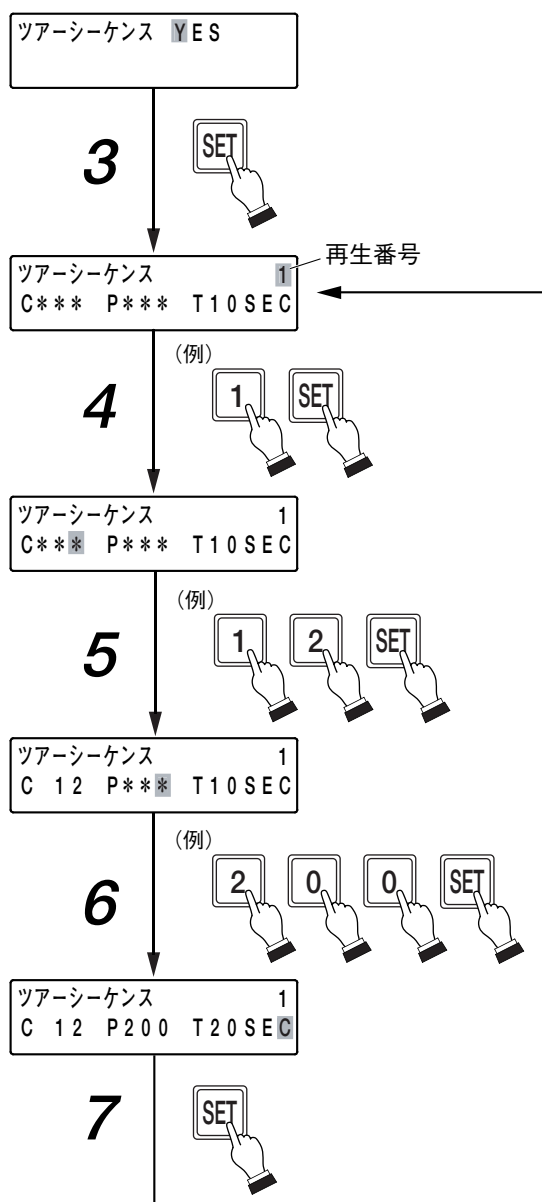
カーソルの点滅が2行目右端の表示時間選択表示に移ります。

**7** ジョイスティックを左右に倒して「3SEC」「10SEC」「15SEC」「20SEC」「30SEC」「1MIN」から選択し、SETキーを押して表示時間を確定する。

※「SEC」は秒、「MIN」は分を表しています。

**8** 引き続き再生番号を設定するときは手順4～7を繰り返す。設定項目の表示に戻るときは、Cキーを押す。

ツアーシーケンス **N0** (工場出荷時)



[設定内容を消去する]

アラーム解除キーを押した後、SETキーを押す。

## ● カメラメニュー

カメラに搭載されているメニュー画面を立ち上げ、プリセットポジション記憶などカメラの各種設定を行います。

カメラメニューの詳しい操作や設定方法については、カメラに付属の取扱説明書をお読みください。

**1** メニューキーを3秒以上押して、メニュー画面を表示する。

**2** ジョイスティックを上下に倒して「カメラメニュー」を選択し、SETキーを押して確定する。  
メニューを立ち上げるカメラ番号の入力待ちになります。

カメラメニュー	***CH
---------	-------

**3** テンキーでカメラ番号を入力し、SETキーを押して確定する。

選択したカメラのメニューがモニターに表示されます。

モニター表示中にもう一度メニューキーを押すと、モニター表示が消え、カメラ番号の入力画面に戻ります。

**4** 引き続き別のカメラ番号を設定するときは、手順2～3を繰り返す。  
設定項目の表示に戻るときは、Cキーを押す。

### ご注意

- ミカミ PTC 通信制御カメラのポジション記憶は、シフトキーを使用した記憶方法 (P. 44) で行うことができます。カメラメニューからは記憶できません。
- ミカミ PTC 通信制御カメラ PTC-EP-RC200 は、カメラメニュー画面を搭載していません。

## ● I/O 選択

動作モードで「2.スレーブ」に設定されているとき、リモコンのRS-232C端子とPCを接続してマスターリモコンを制御する場合に設定します。

**ご注意** スレーブ設定時のみ表示されます。

**1** メニューキーを3秒以上押して、メニュー画面を表示する。

**2** ジョイスティックを上下に倒して「I/Oセンタク」を選択し、SETキーを押して確定する。

I/Oセンタク
1. スイッチャ

**3** ジョイスティックを左右に倒して下記の設定内容を選択し、SETキーを押して確定する。

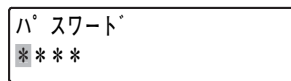
[設定内容]

1. スイッチャ	通常はこの状態で使用します。
2. アラーム	PCと接続してマスターリモコンを制御する必要がある場合に設定します。

## ● パスワード

メニューを開くときのパスワードを設定します。

- 1 アラーム解除キーを押しながら、メニューキーを押す。  
パスワード設定画面が表示されます。



- 2 テンキーでパスワード（4桁の数字）を入力し、SETキーを押して確定する。  
通常画面に戻ります。

## ■ ジョイスティック位置を調整する

ジョイスティックの中心位置を調整します。

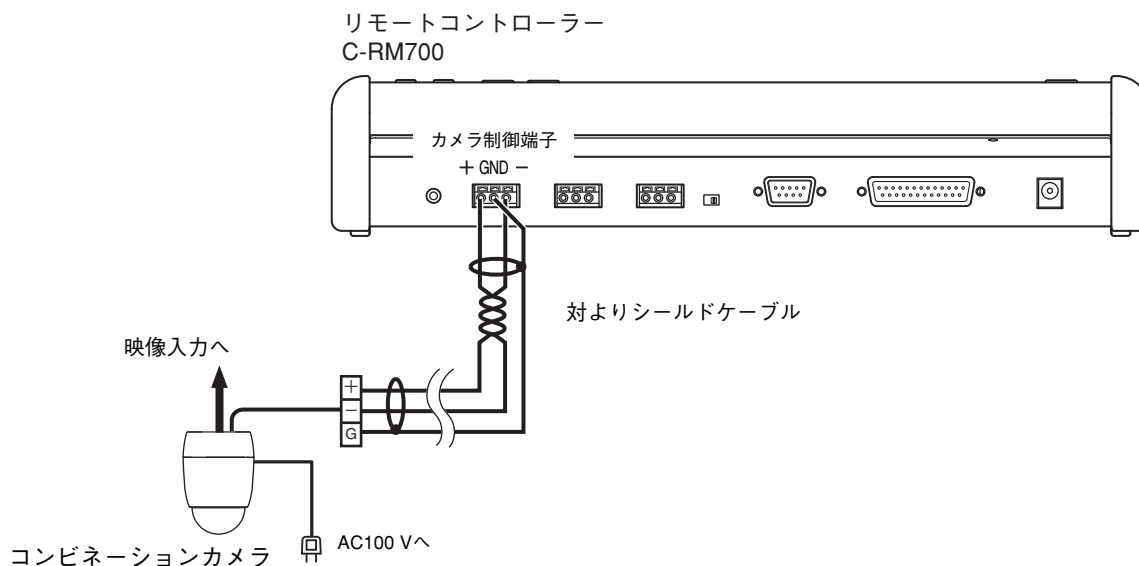
- 1 リモコンの電源を切る。
- 2 カメラキーとオートキーを押したまま電源を入れる。  
現在のジョイスティックの位置を中心と判断します。

**ご注意** ジョイスティックを傾けた状態で、電源を入れないでください。

## 接続のしかた

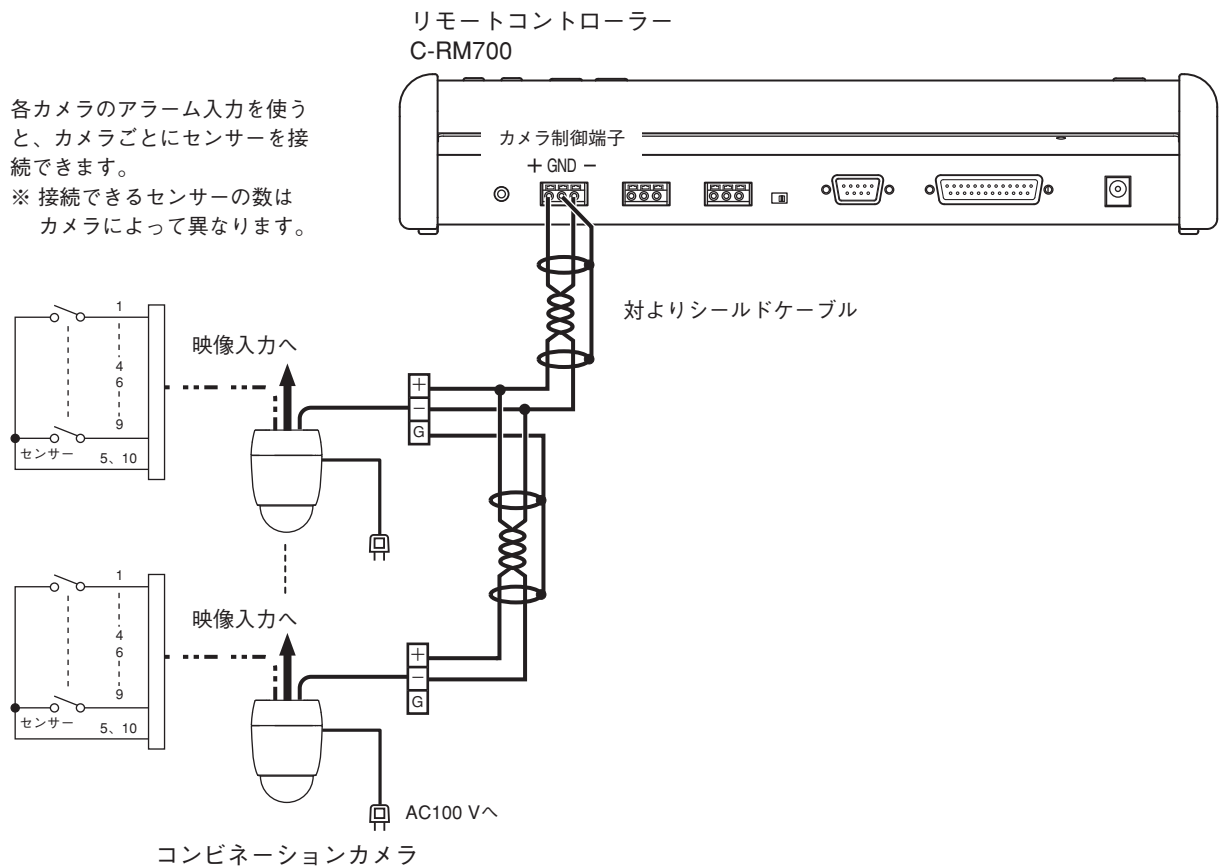
### ■ コンビネーションカメラとの接続

本機のカメラ制御端子とコンビネーションカメラのカメラ制御ケーブルを、同じ極性どうしにそれぞれ接続します。



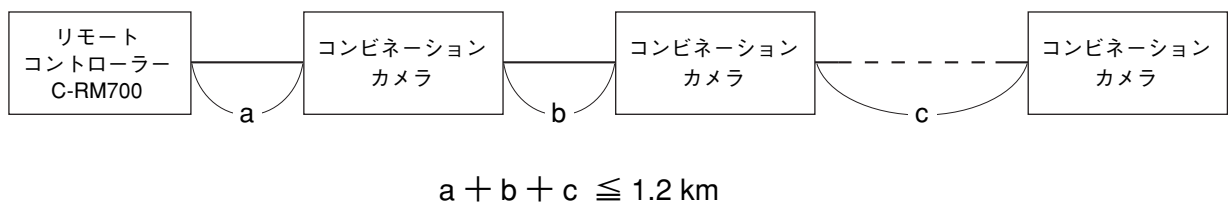


## ■ コンビネーションカメラを複数台接続する



### [接続ケーブル]

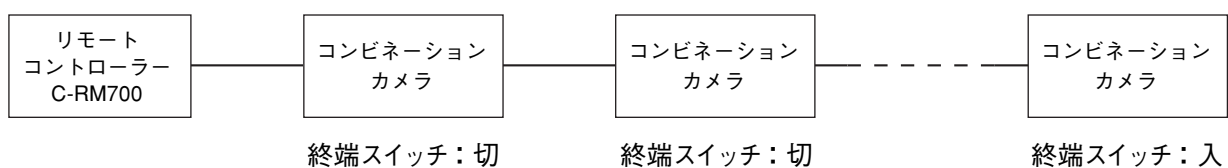
- CPEV-S (対よりシールド線) で  $\phi$  0.65 mm 以上の太さのものを推奨します。
- 本機とコンビネーションカメラが1対1のシステムの場合、ケーブルの最大延長距離は1.2 kmです。  
1つのシステムに複数のカメラが接続されている場合、各機器間の接続距離の合計は1.2 kmまでです。



### [接続機器の端末スイッチの設定]

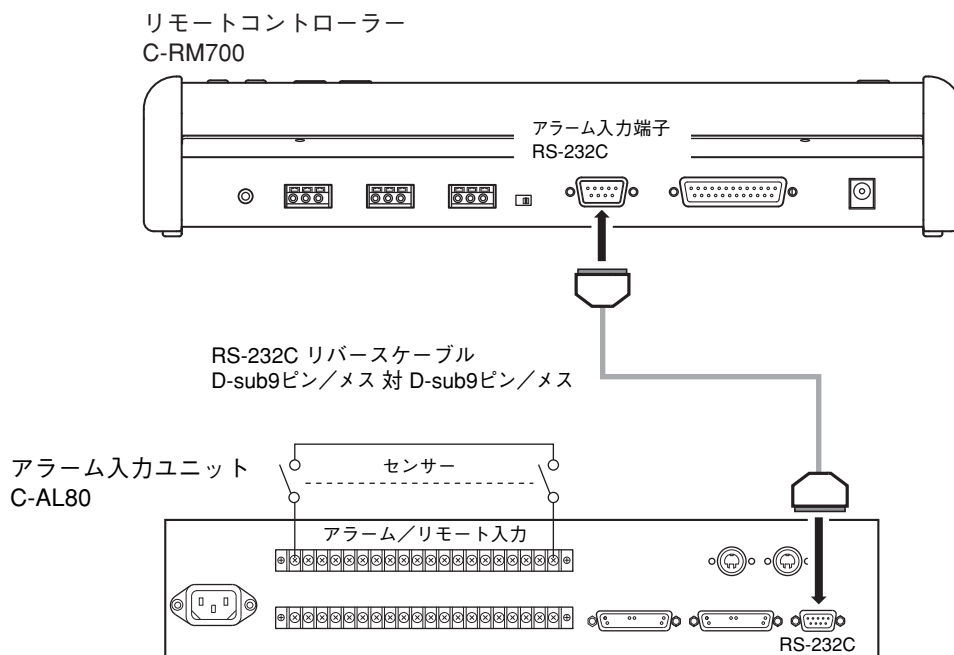
機器の端末スイッチは、必ず次のように設定してください。

- システムの途中に接続された機器：端末スイッチ「切」
- システムの最後に接続された機器：端末スイッチ「入」



## ■ アラームユニットを接続する

**ご注意** 本機のセンサーアラーム設定を「1. オン」にしてください。(参照 P. 39 「センサーアラーム」)



## ■ 2カ所から制御するときの接続

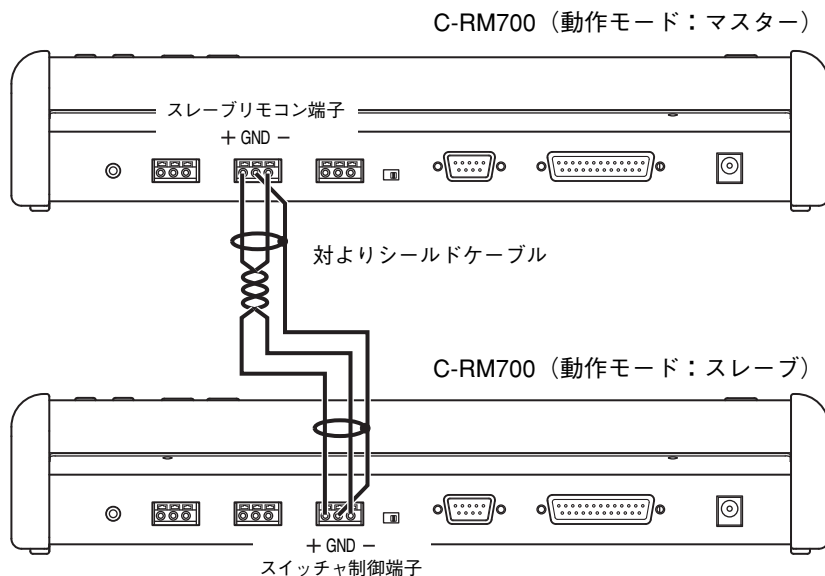
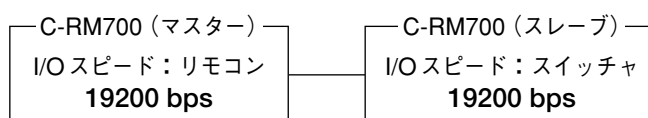
本機をもう1台接続することにより、システムを2カ所から制御することができます。

本機の動作モードを、1台は「マスター」に、もう1台は「スレーブ」に設定してください。(参照 P. 29 「動作モード」)


### ご注意

「マスター」に設定されたC-RM700(本機)の「I/Oスピード:リモコン」と、「スレーブ」に設定されたC-RM700の「I/Oスピード:スイッチャ」を、同じ転送レートに設定してください。(参照 P. 36 「I/Oスピード」)

(例)

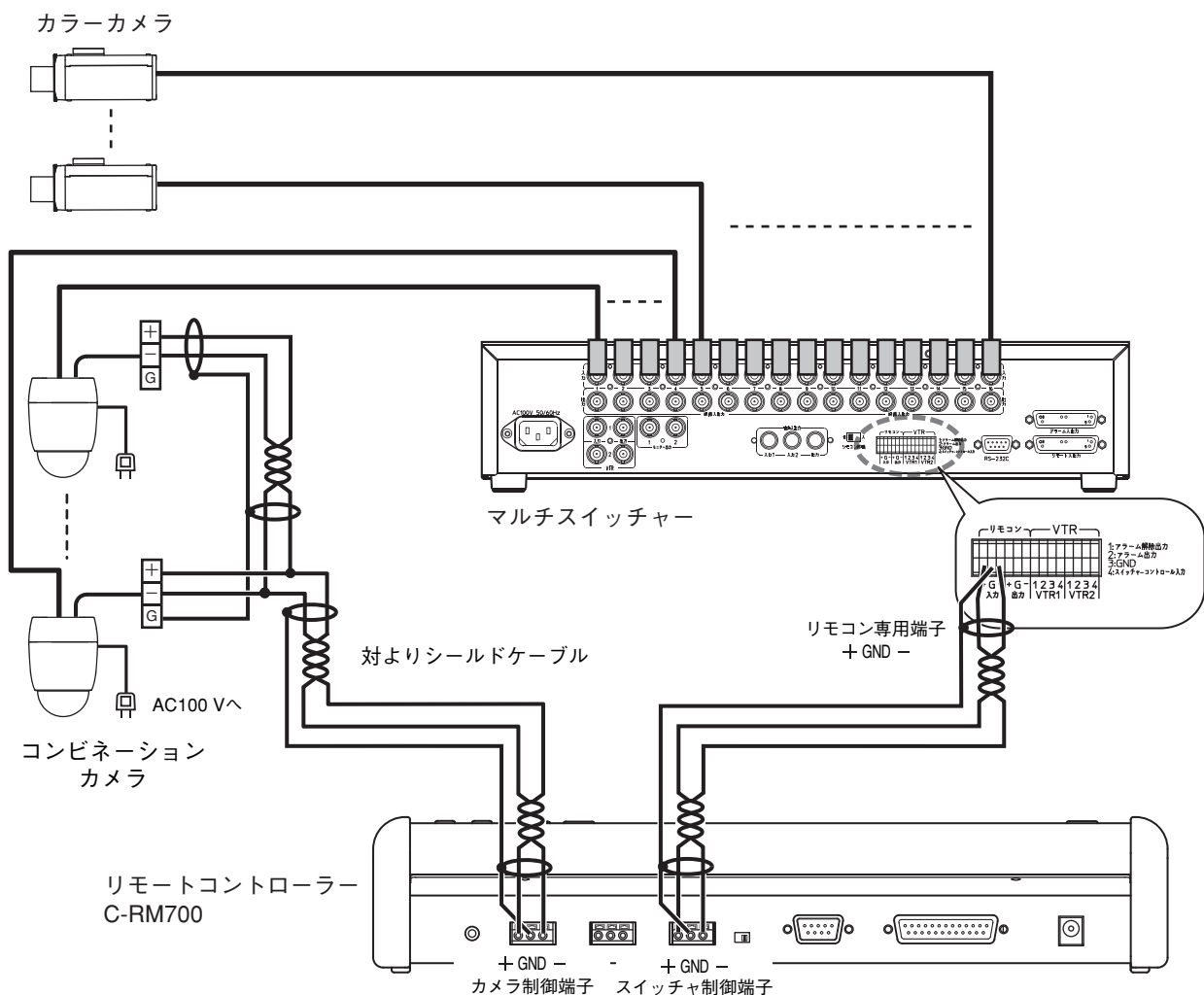


## ■ マルチスイッチャーとの接続

- カメラのアドレス番号とマルチスイッチャーのカメラ入力端子の番号は、一致させてください。
- 使用するマルチスイッチャーに応じて、本機のスイッチャー設定を変更する必要があります。  
(  P. 30 「スイッチャー」)
- アラームを使用した制御を行いたいときは、必ずマルチスイッチャーのメニュー画面で、「録画／アラーム」を「アラーム受信：リモコン」に設定してください。  
詳しくは、マルチスイッチャーに付属の取扱説明書をお読みください。
- 各カメラのアラーム入力を使うと、カメラごとにセンサーを接続できます。接続できるセンサーの数はカメラによって異なります。アラーム入力数を増やすには、本機にアラーム入力ユニット C-AL80 を接続してください。

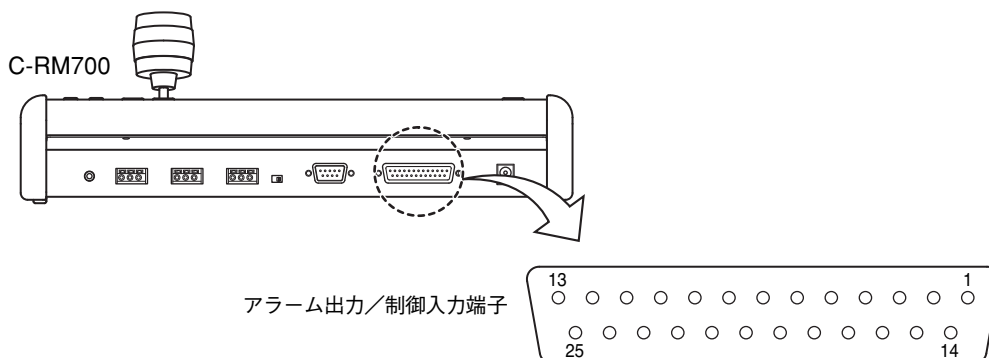
### ご注意

- マルチスイッチャーのアラーム入力端子は、使用しないでください。使用すると誤動作します。
- 本機にアラーム入力ユニット C-AL80 を接続する場合は、必ず C-AL80 のモード切換スイッチ「3」を「リモート切」側にセットしてください。
- アラームが入力されたときに固定カメラの映像に切り換えたい場合は、本機にアラーム入力ユニットを接続してください。また、本機の短縮番号設定で、アラームが入力されたときに切り換えたい固定カメラのポジション番号を「0」に登録してください。
- アラーム入力ユニットは、短縮番号に対してアラームを起動します。  
詳しくは、P. 45 「短縮」と、アラーム入力ユニットに付属の取扱説明書をお読みください。



## ■ アラーム出力／制御入力端子の接続

アラーム入出力端子のピン番号およびピン名称を下に示します。



ピン番号	機能	ピン番号	機能
1	GND	14	アラーム出力 10
2	アラーム出力 1	15	アラーム出力 11
3	アラーム出力 2	16	アラーム出力 12
4	アラーム出力 3	17	GND
5	GND	18	アラーム出力 13
6	アラーム出力 4	19	アラーム出力 14
7	アラーム出力 5	20	アラーム出力 15
8	アラーム出力 6	21	アラーム出力 16
9	GND	22	アラーム出力
10	アラーム出力 7	23	時間調整入力
11	アラーム出力 8	24	ホームポジション選択入力
12	アラーム出力 9	25	NC
13	GND		

### [アラーム出力端子] (ピン番号 1～21)

アラームが入力されたカメラ番号に対応した番号の端子が GND とショートします。

アラーム出力端子 1～16 は、NPN オープンコレクタ出力となっています。

動作電流：最大 20 V、20 mA

### [アラーム出力端子] (ピン番号 22)

1 つでもアラームが入力された場合、端子が GND をショートします。

アラーム出力端子は、NPN オープンコレクタ出力となっています。

動作電流：最大 20 V、20 mA

### [時間調整入力端子] (ピン番号 23) (TYPE B プロトコル制御時のみ有効)

この端子を GND とショートすると、時刻合わせのコマンドをコンビネーションカメラへ送ります。「ジカントウセイ」の設定で接点入力を受ける時刻を設定しておきます。( P. 34 「時間調整」)

開放電圧：DC5 V、短絡電流：最大 5 mA

### [ホームポジション選択入力端子] (ピン番号 24)

C-RM700 ではホームポジションを 2 通り登録しておくことができます。

この端子がオープン的时候は「ホームポジション」で「1」に登録した内容に、GND とショートしたときは「ホームポジション」で「2」に登録した内容に従った動作を行います。( P. 35 「ホームポジション」)

例：昼間と夜間でホームポジションを切り換えたい場合などに使用します。

開放電圧：DC5 V、短絡電流：最大 5 mA

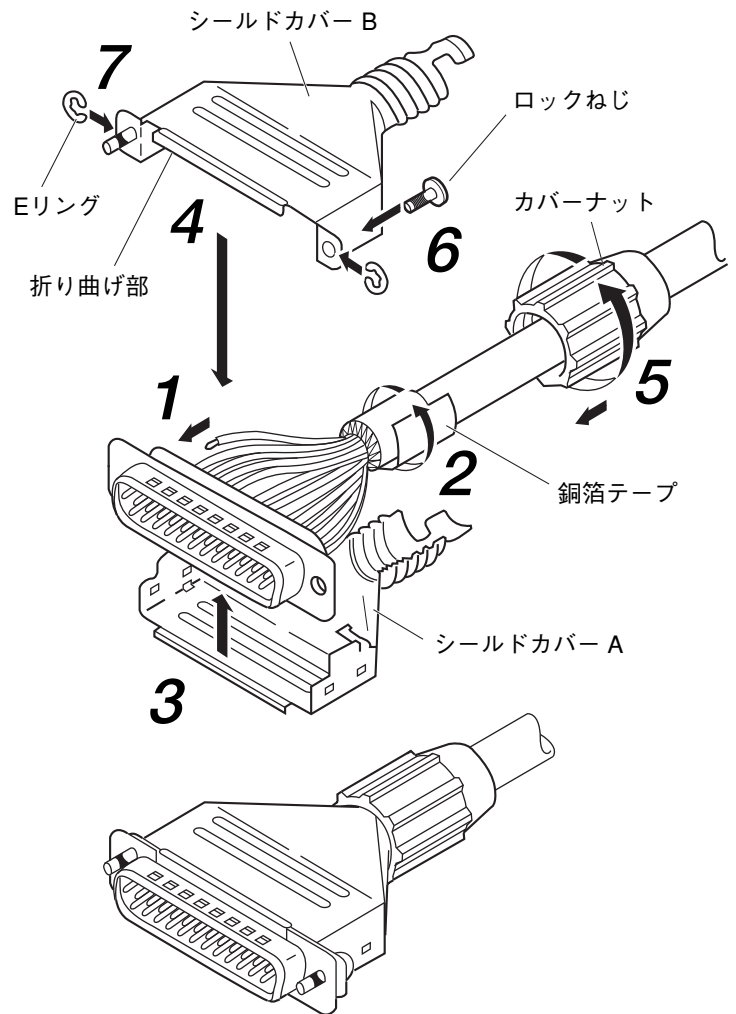
### [NC] (ピン番号 25)

何も接続しないでください。

## ● D-sub コネクタ付きケーブルの組み立てかた

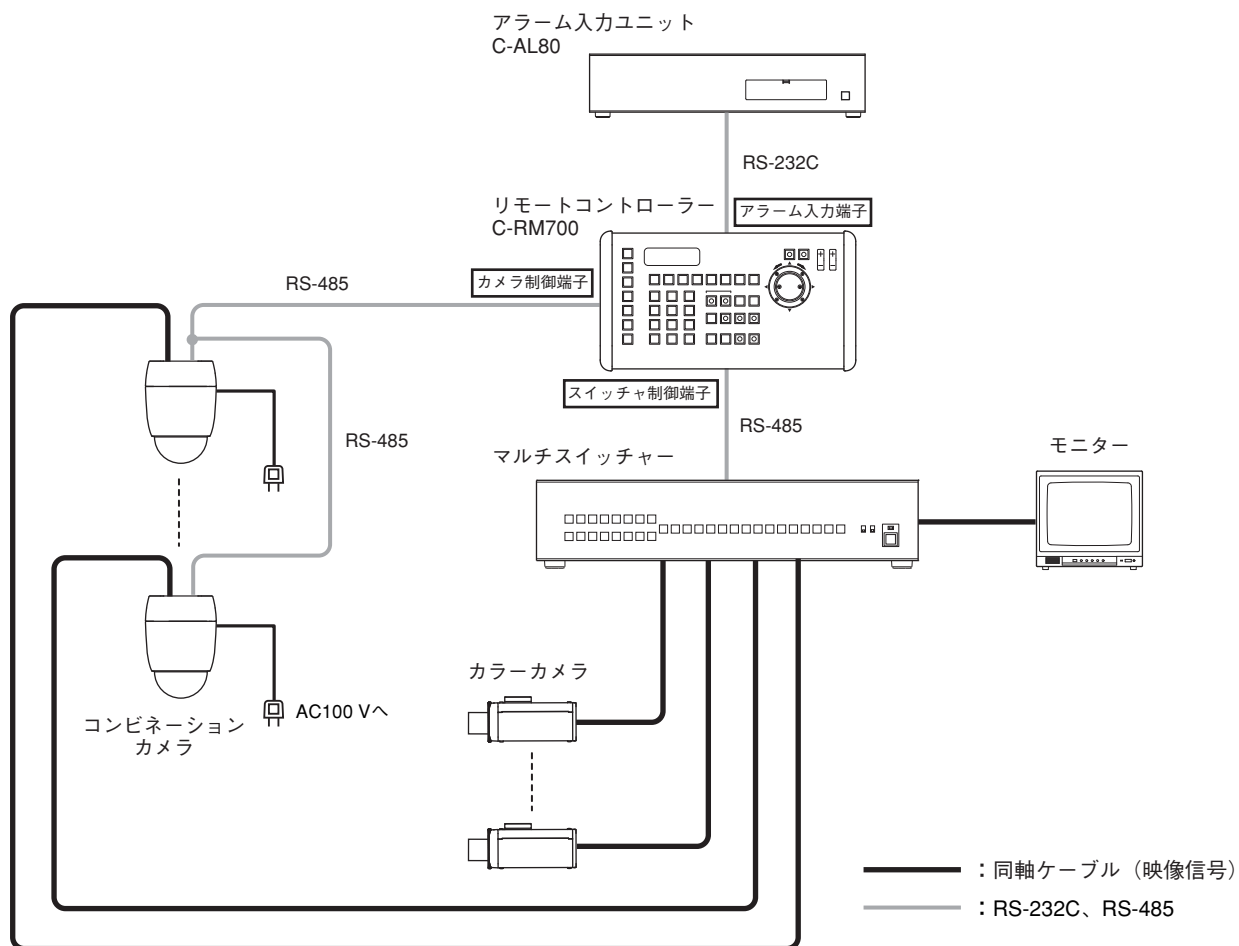
本機に付属の D-sub コネクタを使って作成します。

- 1** コネクタ本体の使用するピンに、電線をはんだ付けする。
- 2** シールド編み線を外被に折り返し、その上に銅箔テープを巻く。
- 3** コネクタ本体にシールドカバー A をかぶせる。
- 4** シールドカバー B をシールドカバー A に沿って合わせ、カバーの折り曲げ部がかかるまで押し込む。
- 5** カバーナットを締め付ける。
- 6** ロックねじを取り付ける。
- 7** Eリングをねじに取り付ける。



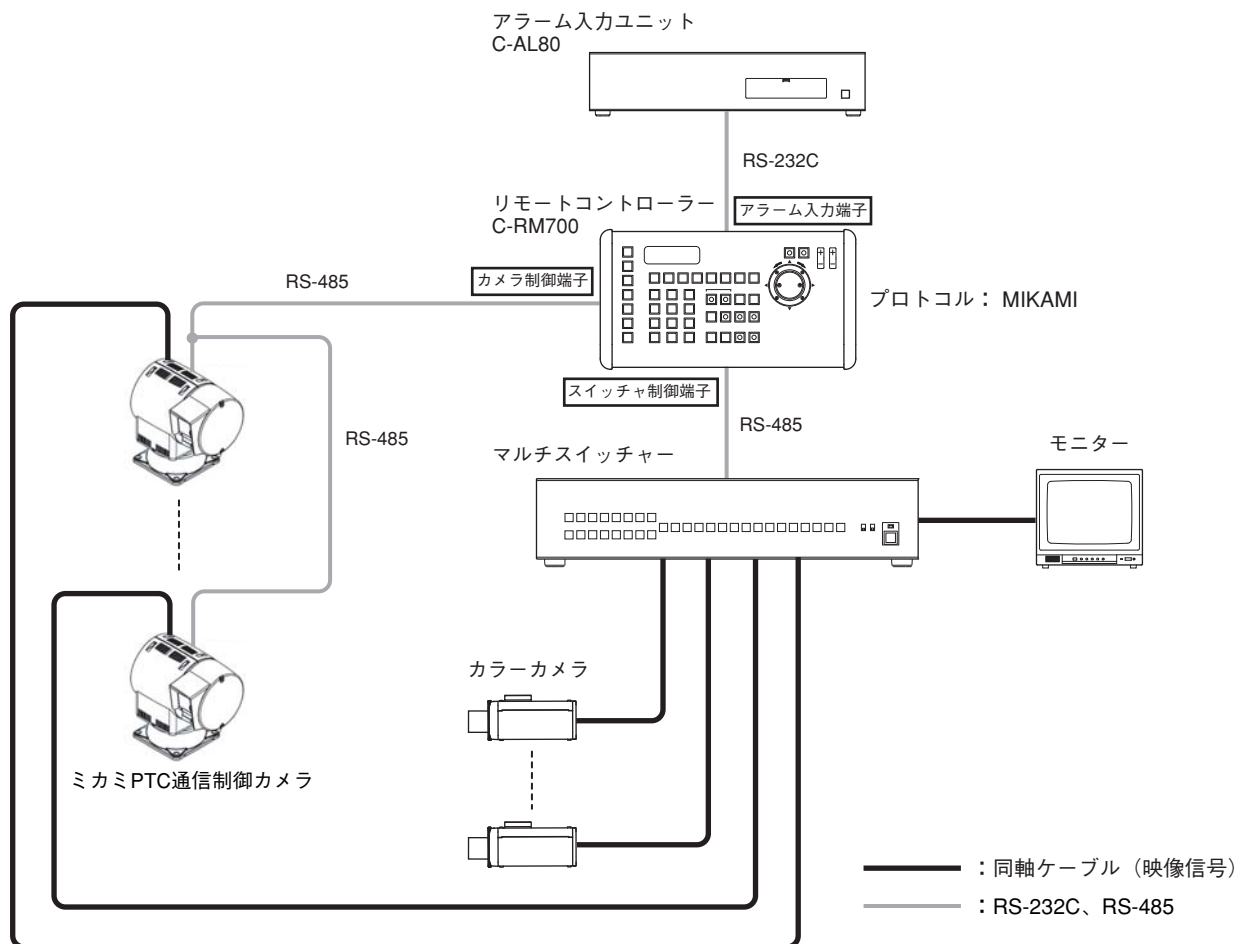
## ■ システム例1

TOAのコンビネーションカメラを接続するときは、以下の接続になります。  
接続の際は、P. 51「マルチスイッチャーとの接続」をよくお読みになり、各機器の設定を正しく行ってください。



## ■ システム例2

ミカミ PTC 通信制御カメラを接続するときは、以下の接続になります。  
接続の際は、P. 51 「マルチスイッチャーとの接続」をよくお読みになり、各機器の設定を正しく行ってください。



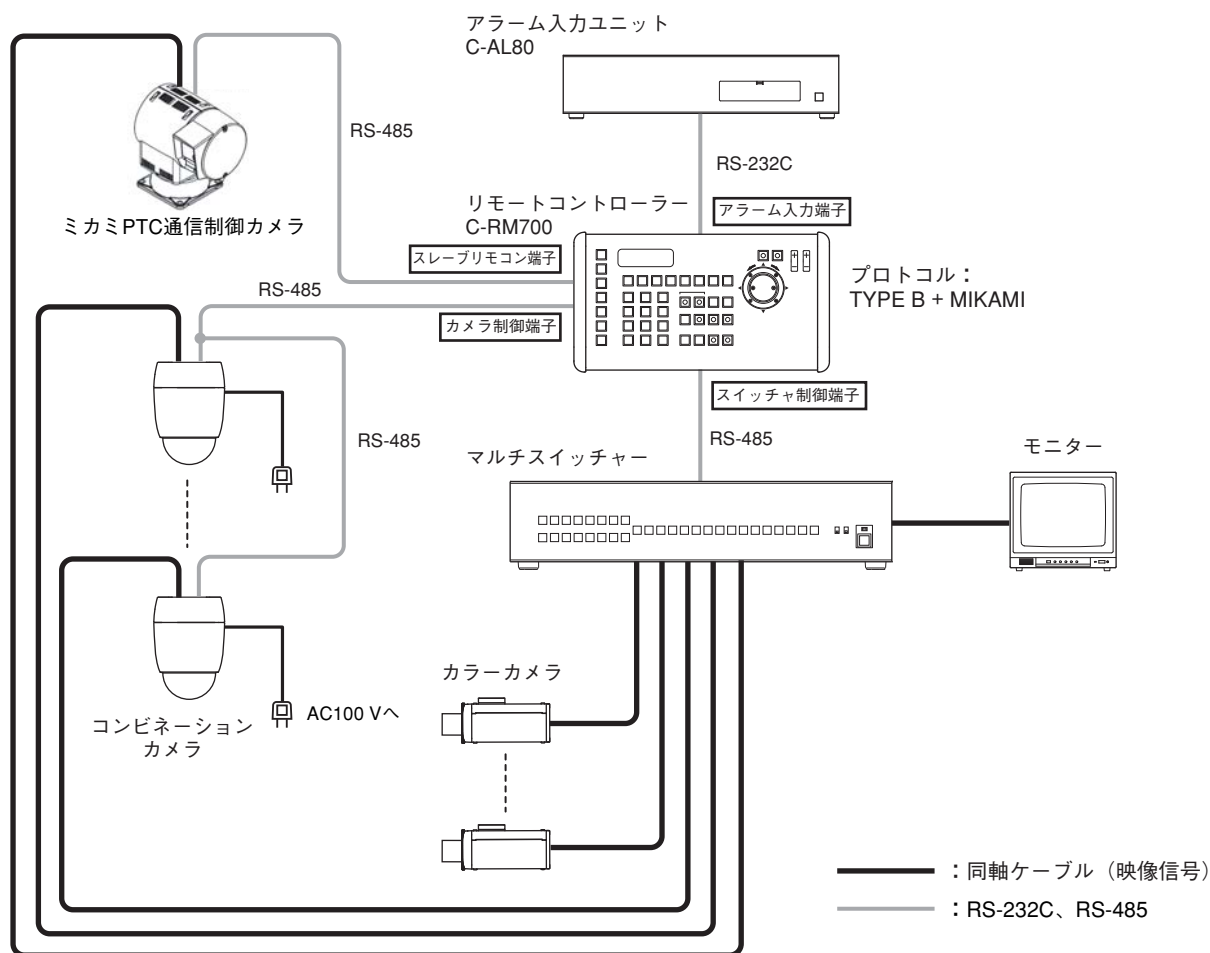
### ご注意

- 本機のプロトコル設定を「MIKAMI」に変更してください。
- 本システムでは、TOAのコンビネーションカメラは制御できません。

## ■ システム例3

TOAのコンビネーションカメラとミカミ PTC 通信制御カメラが混在したシステムの場合は、接続されているカメラを1台のC-RM700で操作することができます。

接続の際は、P. 51「マルチスイッチャーとの接続」をよくお読みになり、各機器の設定を正しく行ってください。



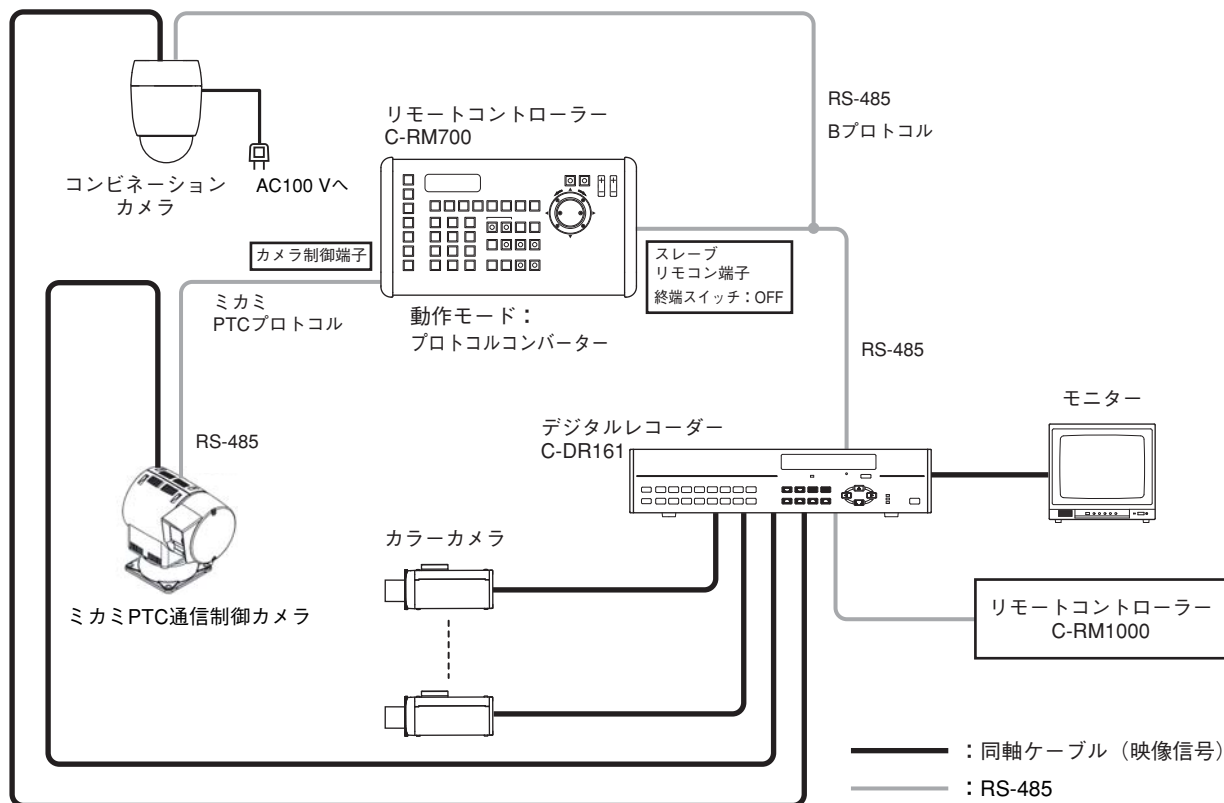
### ■ ご注意

- プロトコル「TYPE B + MIKAMI」で使用の場合は、スレーブリモコン端子をミカミ PTC 通信制御カメラの制御端子として使用するため、スレーブリモコンは接続できません。
- システム内の C-RM700 と TOA のコンビネーションカメラの設定を変更する必要があります。  
 C-RM700：プロトコルの設定を「TYPE B + MIKAMI」に変更する。（参照 P. 31「プロトコル」）  
 TOA のコンビネーションカメラ：各コンビネーションカメラ本体にある通信方式切替スイッチを「ON」に変更する。（工場出荷時は「OFF」）
- カメラ制御端子にミカミ PTC 通信制御カメラを接続することはできません。本端子に接続できるカメラは TOA のコンビネーションカメラに限られます。
- スレーブリモコン端子に TOA のコンビネーションカメラを接続することはできません。本端子に接続できるカメラはミカミ PTC 通信制御カメラに限られます。
- システム内のカメラは、TOA のコンビネーションカメラ・ミカミ PTC 通信制御カメラに関わらず、1～16 の中ですべて違うアドレスを設定してください。なお、各コンビネーションカメラで設定するアドレスは、そのカメラ映像を接続するマルチスイッチャーの映像入力の番号と一致させる必要があります。
- TOA のコンビネーションカメラ C-CC501、C-CC504、C-CC551、C-CC554 は、本システムでは接続することはできません。
- PTC-EP-RC200（ミカミ PTC 通信制御カメラ）は、アドレスおよび終端スイッチは工場出荷時の設定でお使いください。内部の密閉圧力を保つため、設定の変更はできません。



## ■ システム例 4

C-RM700 をプロトコル変換器として使用する場合は、C-RM1000 からデジタルレコーダー C-DR091 / 161 シリーズ経由で TOA のコンビネーションカメラだけでなくミカミ PTC 通信制御カメラを操作することができます。



### ご注意

- C-RM700 をプロトコルコンバーターとして使用する場合は、リモートコントローラーとしての機能は一切使用できません。
- システム内の C-RM700 と TOA のコンビネーションカメラ、デジタルレコーダーの設定を変更する必要があります。  
C-RM700：動作モードを「プロトコルコンバーター」に変更する。  
TOA のコンビネーションカメラ：各コンビネーションカメラ本体にある通信方式切換スイッチを「ON」に変更する。(工場出荷時は「OFF」)  
デジタルレコーダー：システム設定の「カメラモデル」を「TOA-B」に変更する。(工場出荷時は「TOA-A」)
- システム内のカメラは、TOA のコンビネーションカメラ・ミカミ PTC 通信制御カメラに関わらず、1～16 の中ですべて違うアドレスを設定してください。なお、各コンビネーションカメラで設定するアドレスは、そのカメラ映像を接続するデジタルレコーダーの映像入力の番号と一致させる必要があります。
- TOA のコンビネーションカメラ C-CC501、C-CC504、C-CC551、C-CC554 は、本システムでは接続することはできません。
- PTC-EP-RC200 (ミカミ PTC 通信制御カメラ) は、アドレスおよび終端スイッチは工場出荷時の設定でお使いください。内部の密閉圧力を保つため、設定の変更はできません。
- C-RM1000 にはワイパーキーがありません。ワイパーを動作させるには、ファンクションキーにツアー 16 を設定してください。ツアー 16 を設定したファンクションキーを押すとワイパーが動作します。

# 機能設定一覧表

各カメラやプロトコルによって設定できる機能が異なります。  
詳しくは、以下の表を参照してください。

## ● オートキーの設定

オートキーの設定については、P. 33「オートキー」を参照してください。

	TOA		ミカミ	
	C-CC511, C-CC514, C-CC571, C-CC574, C-CC711, C-CC714, C-CC771, C-CC774	C-CC704	PTC-EP-RC200	PTC-113
オートパン	○	○	○*1	○*1
オートトレース 1	○	○	—	○*2
オートトレース 2	○	○	—	—
オートトレース 3	—	○	—	—
オートトレース 4	—	○	—	—
オートトレース 5	—	○	—	—
オートトレース 6	—	○	—	—
オートトレース 7	—	○	—	—
オートトレース 8	—	○	—	—
プリセットシーケンス	○	—	—	○*3
ツアー 1	○	○	—	○*4
ツアー 2	○	○	—	○*5
ツアー 3	○	○	—	○*6
ツアー 4	○	○	—	○*7
ツアー 5	○	○	—	○*8
ツアー 6	○	○	—	○*9
ツアー 7	○	○	—	○*10
ツアー 8	○	○	—	○*11
ツアー 9	○	—	—	○*12
ツアー 10	○	—	—	—
ツアー 11	○	—	—	—
ツアー 12	○	—	—	—
ツアー 13	○	—	—	—
ツアー 14	○	—	—	—
ツアー 15	○	—	—	—
ツアー 16	○	—	—	—

## ● ファンクションキーの設定

ファンクションキーの設定については、P. 43「ファンクション」を参照してください。

	TOA TYPE A			TOA TYPE B		ミカミ	
	C-CC501, C-CC504, C-CC551, C-CC554	C-CC511, C-CC514, C-CC571, C-CC574, C-CC711, C-CC714, C-CC771, C-CC774	C-CC704	C-CC511, C-CC514, C-CC571, C-CC574, C-CC711, C-CC714, C-CC771, C-CC774	C-CC704	PTC-EP-RC200	PTC-113
オートパン	○	○	○	○	○	○*1	○*1
オートトレース1	○	○	○	○	○	—	○*2
オートトレース2	—	—	—	○	○	—	—
オートトレース3	—	—	—	—	○	—	—
オートトレース4	—	—	—	—	○	—	—
オートトレース5	—	—	—	—	○	—	—
オートトレース6	—	—	—	—	○	—	—
オートトレース7	—	—	—	—	○	—	—
オートトレース8	—	—	—	—	○	—	—
プリセットシーケンス	○	○	○*13	○	—	—	○*3
ツアー1	—	—	—	○	○	—	○*4
ツアー2	—	—	—	○	○	—	○*5
ツアー3	—	—	—	○	○	—	○*6
ツアー4	—	—	—	○	○	—	○*7
ツアー5	—	—	—	○	○	—	○*8
ツアー6	—	—	—	○	○	—	○*9
ツアー7	—	—	—	○	○	—	○*10
ツアー8	—	—	—	○	○	—	○*11
ツアー9	—	—	—	○	—	—	○*12
ツアー10	—	—	—	○	—	—	—
ツアー11	—	—	—	○	—	—	—
ツアー12	—	—	—	○	—	—	—
ツアー13	—	—	—	○	—	—	—
ツアー14	—	—	—	○	—	—	—
ツアー15	—	—	—	○	—	—	—
ツアー16	—	—	—	○	—	—	—

※ ルートの設定は「カメラメニュー」で行ってください。

- \*1 オートパンは、63ポジションを左端点、64ポジションを右端点として動作します。カメラメニューのスタート位置、ストップ位置の設定では動作させることができません。端点での停止時間は2秒、回転速度はPTC-113が約6°/S、PTC-EP-RC200が約9°/S固定になります。
- \*2 トレースは、P. 44に記載されているシフトキーを使用し設定された動作を行います。カメラメニューで設定したトレースでは動作させることができません。
- \*3 シーケンシャル動作のルート0を実行します。カメラメニューの設定とは関係なくスピードはMAX、停止時間は約10秒で動作します。
- \*4 シーケンシャル動作のルート1を実行します。カメラメニューの設定とは関係なくスピードはMAX、停止時間は約10秒で動作します。
- \*5 シーケンシャル動作のルート2を実行します。カメラメニューの設定とは関係なくスピードはMAX、停止時間は約10秒で動作します。
- \*6 シーケンシャル動作のルート3を実行します。カメラメニューの設定とは関係なくスピードはMAX、停止時間は約10秒で動作します。
- \*7 シーケンシャル動作のルート4を実行します。カメラメニューの設定とは関係なくスピードはMAX、停止時間は約10秒で動作します。
- \*8 ランダムシーケンシャル動作のルート0を実行します。カメラメニューの設定とは関係なくスピードはMAX、停止時間は約10秒で動作します。
- \*9 ランダムシーケンシャル動作のルート1を実行します。カメラメニューの設定とは関係なくスピードはMAX、停止時間は約10秒で動作します。
- \*10 ランダムシーケンシャル動作のルート2を実行します。カメラメニューの設定とは関係なくスピードはMAX、停止時間は約10秒で動作します。
- \*11 ランダムシーケンシャル動作のルート3を実行します。カメラメニューの設定とは関係なくスピードはMAX、停止時間は約10秒で動作します。
- \*12 ランダムシーケンシャル動作のルート4を実行します。カメラメニューの設定とは関係なくスピードはMAX、停止時間は約10秒で動作します。
- \*13 ツアー1を実行します。

# 仕 様

電 源	AC100 V 50 / 60 Hz (AC アダプターより供給)
消 費 電 力	3 W (AC アダプター使用時)
スレーブリモコン	RS-485 スクリューレスコネクター (1台接続可能)
カメラ制御	RS-485 (タイプA/B、MIKAMI PTC プロトコル) スクリューレスコネクター
スイッチャー制御	RS-485 スクリューレスコネクター
アラーム入力	RS-232C D-sub コネクター (9P、オス)
アラーム出力・制御入力	アラーム出力 : 16系統、NPN オープンコレクター出力、耐電圧: DC20 V、 制御電流: 20 mA、D-sub コネクター (25P、メス) 時間調整入力 : 1系統、無電圧メイク接点入力、開放電圧: DC5 V、 短絡電流: 最大 5 mA ホームポジション選択入力: 1系統、無電圧メイク接点入力、開放電圧: DC5 V、 短絡電流: 最大 5 mA
表 示	アラーム状態、アラーム保留状態、予備1、予備2、オート動作状態、コントロール 状態、静止画状態、レンズスピード、オートフォーカスの各LED表示、 キー入力確認用LCD表示
警 報 音	連続警報音 (ON / OFF 可能)
最 大 接 続 数	16台 (制御可能な RS-485 通信のカメラ)
カメラリモコン間 最大延長距離	1.2 km *
使用温度範囲	0℃ ~ +40℃
使用湿度範囲	80%RH 以下 (ただし結露のないこと)
仕 上 げ	パネル: 表面処理鋼板 シルバー 塗装 側面部: ゴム
寸 法	323.6 (W) × 112.7 (H) × 181 (D) mm
質 量	1.7 kg (AC アダプター除く)

\* ただし、本機とコンビネーションカメラが、それぞれ1対1のシステムの場合であり、1つのシステムに複数台のコンビネーションカメラやインターフェースユニットがある場合は、システムの各端子間の接続距離の合計 (CPEV-S φ 0.65 以上相当のケーブル使用時)

※ 本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

## ● 付属品

AC アダプター ..... 1  
D-sub コネクター (25P、オス) ..... 1



商品の価格・在庫・修理などのお問い合わせ、およびカタログのご請求については、取り扱い店または最寄りの営業所へお申し付けください。

TOA お客様相談センター  
商品の内容・組み合わせ・取り扱い方法や修理に関するご相談にお応えします。  
受付時間 9:00 ~ 17:00 (土日、祝日除く)

フリーダイヤル **0120-108-117**  
ナビダイヤル 0570-064-475 (有料)  
FAX 0570-017-108 (有料)  
※ PHS、IP 電話からはつながりません。

TOA ホームページ <http://www.toa.co.jp/>

133-22-204-9D